SONY

3-205-633-**05** (1)

Digital Graphic Printer

取扱説明書 _____ JP

Instructions for Use _____ GB

Mode d'emploi _____ FR

Gebrauchsanweisung _____ DE

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。**この取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

CE

UP-D895

© 2001 Sony Corporation

安全のために

本機は正しく使用すれば事故が起きないように、安全には充分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあり、危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4 ～ 5 ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の安全上の注意事項が記されています。

定期点検をする

長期間、安全にお使いいただくために、定期点検をすることをおすすめします。点検の内容や費用については、お買い上げ店またはソニーの業務用ご相談窓口にご連絡ください。

故障したら使わない

すぐに、お買い上げ店またはソニーの業務用ご相談窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

・煙が出たら
・異常な音、においがしたら
・内部に水、異物が入ったら
・製品を落としたり、キャビネットを破損したときは

⬇

❶ 電源を切ります。
❷ 電源コードや接続ケーブルを抜きます。
❸ お買い上げ店またはソニーの業務用ご相談窓口までご相談ください。

警告表示の意味

この取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

行為を禁止する記号

行為を指示する記号

主な特長

静かな高画質・高速プリント

・高速ドライブ IC 内蔵の薄膜サーマルヘッドを採用。12.8 ドット /mm の高密度印画が可能です。
・実印画時間約 5.1 秒 /1 画面（1280 × 1280 ドット）で高画質プリントができます。
・標準搭載の画像用メモリーで最大 4096 × 1280 ドット（約 320 × 100mm）の画像を印画できます。
・白黒 256 階調表現が可能です。
・温度差による印画ムラを防ぐ温度補正回路を内蔵しています。

USB・パラレルインターフェースを装備

USB 1.0 と IEEE 1284 準拠の双方向パラレルの両インターフェースを装備しました。これによりお使いのコンピューターに合わせたシステムアップが可能です。

用紙のサイズにあわせたプリント画の拡大が可能

プリント画が用紙サイズより小さい場合、用紙サイズにあわせて自動的にプリント画を拡大する設定が可能です。

余白量の設定が可能

プリンター用紙 1 巻あたりの印画枚数が多くとれるように、印画余白を少なくする設定ができます。

エラーを知らせるアラームブザー機能

エラーを知らせるアラームブザーにより、誤操作を防ぐことができます。

プリンター用紙の取り付けが簡単

ドアパネルを開けてプリンター用紙を落とし込むだけで、簡単に取り付けることができます。

目次

準備 / 操作

各部の名称と働き 6
接続 7
USB ポートにつなぐ場合 7
プリンターポートにつなぐ場合 7
パソコンにプリンタードライバーをインストールする ..8
DIP スイッチを設定する 8
プリンター用紙について 9
プリンター用紙の種類 9
プリンター用紙を取り付ける 10
プリントするには 12
プリント前の確認 12
プリントする 12
プリントを中断するには 12
プリント用紙を送るには 12

その他

使用上のご注意 13
電源について 13
安全のために 13
置き場所について 13
持ち運びについて 13
お手入れ 14
キャビネットのクリーニング 14
ヘッドのクリーニング 14
主な仕様 15
プリンター 15
インターフェース 15
故障とお考えになる前に 16
保証書とアフターサービス 17
保証書 17
アフターサービス 17

⚠警告

下記の注意を守らないと、**火災**や**感電**により**死亡**や**大けが**につながることがあります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- 設置時に、製品と壁やラック（棚）などの間に、はさみこんだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近付けたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグをもって抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーの業務用ご相談窓口に交換をご依頼ください。

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない

上記のような場所に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。
取扱説明書に記されている仕様条件以外の環境での使用は、火災や感電の原因となることがあります。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて、お買い上げ店またはソニーの業務用ご相談窓口にご相談ください。

内部を開けない

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットや裏蓋などを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となることがあります。内部の調整や設定、点検、修理は、お買い上げ店またはソニーの業務用ご相談窓口にご依頼ください。

本機は国内用です

交流 100V でお使いください。
海外などで、異なる電圧で使うと、火災や感電の原因となることがあります。

⚠注意

下記の注意を守らないと、**けが**をしたり周辺の物品に**損害**を与えることがあります。

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。

接続の際は電源を切る

電源コードや接続コードを接続するときは、電源を切ってください。感電や故障の原因となることがあります。

付属の電源コードを使う

付属の電源コードを使わないと、感電や故障の原因となることがあります。

安全アースを接続する

安全アースを接続しないと、感電の原因となることがあります。

安全アースを取り付けることができない場合は、お買い上げ店またはソニーの業務用ご相談窓口にご相談ください。

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところなどに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。

また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

製品の上に乗らない、重いものを載せない

倒れたり、落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

カッターの刃には触れない

カッターの刃に触れると、けがをすることがあります。

本体内部に手を入れない

ドアが開いているときに、本体内部に手をいれると、火傷および故障の原因となることがあります。

ドアの上に指を置かない

ドアを閉める際はドアの上に指を置かないでください。

フロントパネルとの間に挟んでけがの原因となることがあります。

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

移動させるときは電源コード、接続コードを抜く

接続したまま移動させると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

通風孔をふさがない

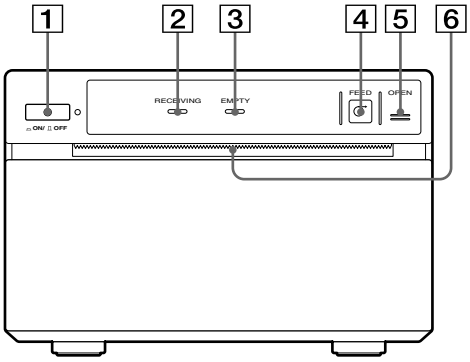
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 壁から 10cm 以上離して設置する。
- 密閉された狭い場所に押し込めない。
- 毛足の長い敷物 (じゅうたんや布団など) の上に設置しない。
- 布などで包まない。
- あお向けや横倒し、逆さまにしない。

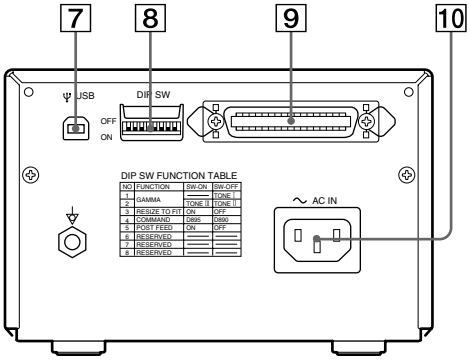
各部の名称と働き

( ) 内の数字は参照ページを示します。

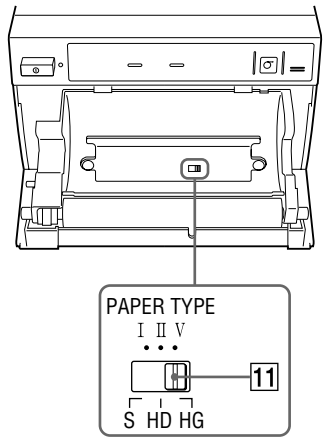
前面



裏面



プリンター用紙トレイ内のスライドスイッチ



1 電源 ON/OFF スイッチとランプ（10, 12, 14）
スイッチを ON にして電源を入れると、ランプが点灯します。

2 RECEIVING（受信）ランプ
パソコンからのプリントデータを受信しているとき、点灯します。

3 EMPTY（紙無し）ランプ (12)
プリンター用紙が無くなったときに点灯します。
サーマルヘッドの温度上昇保護回路動作中は、点滅します。

4 FEED（紙送り）ボタン（11, 14）
押している間、プリント用紙を送ります。プリント中に押すとプリントを中断できます。

5 OPEN（開く）ボタン（10, 12, 14）
ドアパネルを開けるときに押します。プリント中に押すとプリントを中断できます。

6 ペーパーカッター
プリント画を出口でカットするための刃です。

7 USB 端子（7）
パソコンやその他の周辺機器を接続します。接続には USB ケーブルをお使いください。

8 DIP SW（ディップスイッチ）(8 ～ 9)
印画モードなどを設定します。

9 パラレル端子（36 ピンアンフェノール型）(7)
パソコンやその他の周辺機器を接続します。接続にはセントロニクス準拠のインターフェースケーブルをお使いください。
高速転送モード（ECP モード）でお使いの場合は、IEEE STD 1284 準拠の接続ケーブルをお使いください。

10 AC IN（電源）端子
付属の電源コードを差し込みます。

11 PAPER TYPE（プリンター用紙）切り換えスイッチ
プリンター用紙の種類を設定します。
ご使用になる用紙の種類に合わせて設定してください。

用紙の種類	スイッチの位置
UPP-110S	I（Normal ＝標準）
UPP-110HD	II（High Density ＝高濃度）
UPP-110HG	V（High Glossy ＝高光沢）

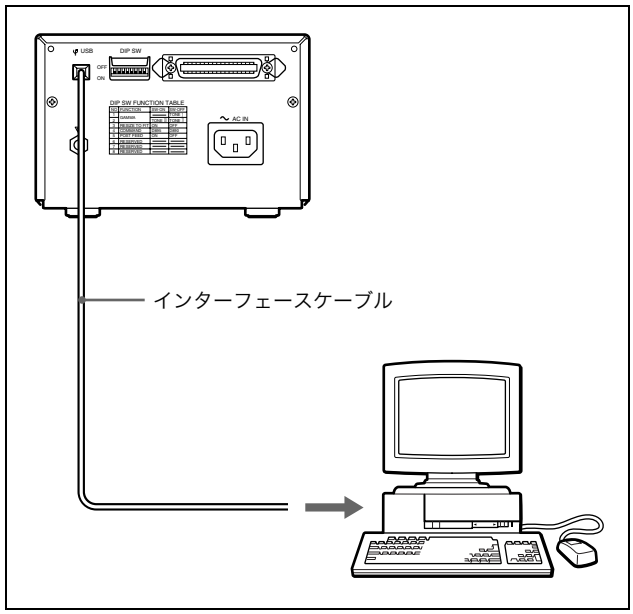
接続

プリンターにパソコンのインターフェースケーブルを接続してから、電源コードを接続します。インターフェースケーブルの種類はパソコンによって異なります。接続器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

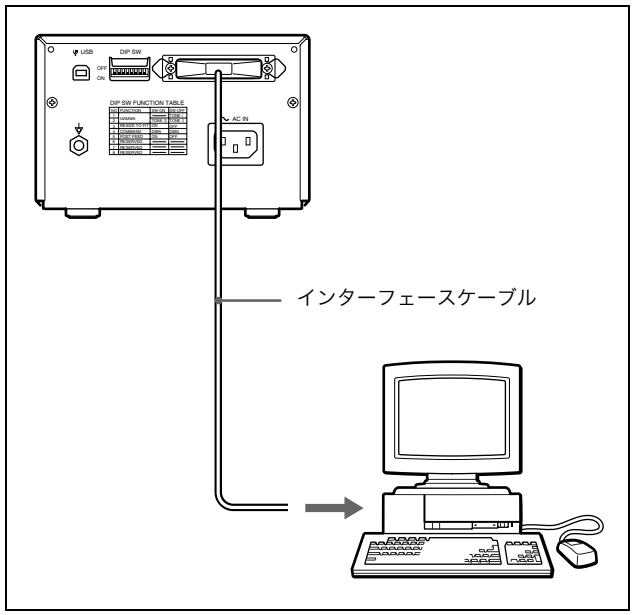
ご注意

- パソコンに接続するときは、本機およびパソコン、モニターなどパソコンに接続している周辺機器の電源を必ず切ってください。
- パソコンに接続するときは、本機の電源コードをはずし、パソコンに接続してから電源コードを接続してください。
- 接続ケーブル（セントロニクスまたは USB）は、プリンターの接続端子の形状に合ったものをお使いください。
- パソコンの取扱説明書もあわせてお読みください。
- プリンターポートに接続する場合、ケーブルは、2 m 以下で両端フェライトコア付きのシールドタイプのものをおすすめします。
- ケーブルのコネクターは、最後までしっかり差し込んでください。
- 付属のプリンタードライバーは、ネットワーク経由での使用には対応しておりません。
- ハブを使用した USB 接続をする場合は、動作を保証いたしません。
- **USB ケーブルとプリンターケーブルの両方を接続した場合は USB のみ使用できます（プリンターケーブルは使用できません）。**

USB ポートにつなぐ場合



プリンターポートにつなぐ場合



ご注意

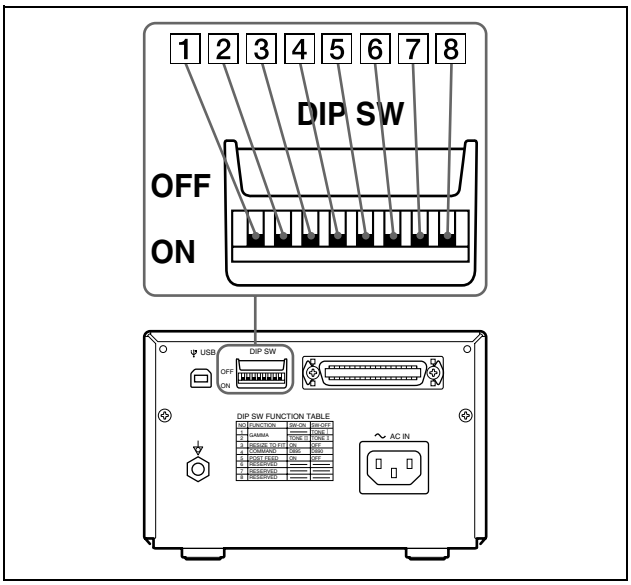
高速転送モード（ECP モード）をお使いの場合は、IEEE STD 1284 準拠の接続ケーブルをお使いください。なお、高速転送モードで使用するためには、パソコン側でパラレルポートの設定を行う必要があります。詳しくはパソコンの取扱説明書を参照してください。

パソコンにプリンタードライバーをインストールする

付属のプリンタードライバーをインストールします。インストールのしかたについては、プリンタードライバーディスクの中の「ReadMe (Japanese)」をお読みください。

DIP スイッチを設定する

プリンターの使用状況により、DIP スイッチを次のように切り換えます。**プリンターの電源を切って**、小さいドライバーの先などで切り換えてください。
下図は工場出荷時の各スイッチの位置を示します。



DIP SW FUNCTION TABLE

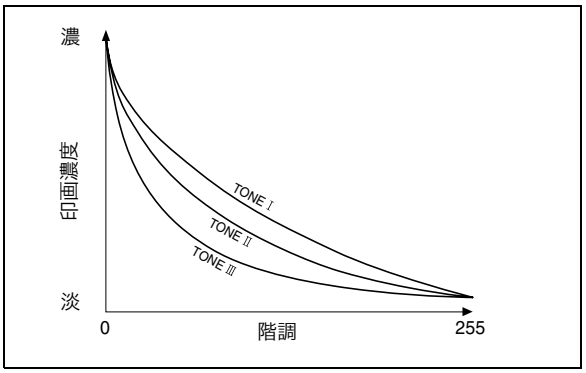
NO	FUNCTION	SW-ON	SW-OFF
1	GAMMA	————	TONE I
2		TONE III	TONE II
3	RESIZE TO FIT	ON	OFF
4	COMMAND	D895	D890
5	POST FEED	ON	OFF
6	RESERVED	————	————
7	RESERVED	————	————
8	RESERVED	————	————

1 2 GAMMA（ガンマ）スイッチ
画面のトーンを切り換えます。**4 COMMAND 切り換えスイッチが D890 のときのみ有効です。**

印画モード	GAMMA スイッチの位置	
	1	2
TONE I	OFF（TONE I）	どちらでも可
TONE II	ON（−）	OFF（TONE II）
TONE III	ON（−）	ON（TONE III）

TONE I の GAMMA の場合は、2 GAMMA スイッチの設定はどちらでもかまいませんが、なるべく工場出荷時の設定（ON）のままにしておいてください。

各トーンのカーブは次のようになっています。



3 RESIZE TO FIT

4 COMMAND 切り換えスイッチが D890 のときのみ有効です。

ON： プリント画の大きさが約２５％拡大され、UP-D890 で印画した場合と同じ大きさになります。

OFF： プリント画を拡大せず印画します。UP-D890 で印画した場合と比べ、プリント画の大きさが約２５％小さくなります。(UP-D895 は UP-D890 に比べ、画素密度が２５％上がるため)

4 COMMAND 切り換えスイッチ

本機を UP-D890 専用のアプリケーションソフトで使用する場合は、OFF（D890）にします。

5 POSTFEED（用紙送りスイッチ）

プリント後の印画紙の送りかたを切り換えます。

ON： プリント後に余白をつけて印画紙を送ります。

OFF： 余白を少なくするとき、または複数枚まとめてプリントを行うときに、この位置に設定します。印画紙 1 枚あたりの余白が短いので、用紙の 1 巻あたりの印画枚数を多くとることができます。ただし、ペーパーカット時は FEED ボタンを押して用紙を引き出してカットしてください。

6 7 8 RESERVED（リザーブド）スイッチ

通常は出荷時の設定（ON）のままにしておいてください。

プリンター用紙について

プリンター用紙は、必ず専用のソニー UPP-110S/110HD/110HG をお使いください。他のプリンター用紙をお使いになると、印画品質の保証ができないばかりでなく、プリンターの故障の原因にもなります。

UP-D890 用のプリンター用紙、UPP-110HA もお使いになれませんのでご注意ください。

プリンター用紙の種類

プリンター用紙には次のような特性があります。

印画特性	用紙の種類
TYPE I（Normal ＝標準）	UPP-110S
TYPE II（High Density ＝高濃度）	UPP-110HD
TYPE V（High Glossy ＝高光沢）	UPP-110HG

プリンター用紙についてのご注意

未使用のプリンター用紙を保管する場合：

下記の場所に保管してください。下記以外の場所に保管すると、プリンター用紙が変色することがあります。

- 30 ℃以下の冷暗な場所
- 湿度が低く、日光や室内光があたらない場所
- アルコールなどの揮発性有機溶剤やセロハンテープ、塩化ビニールなどに触れない場所

プリンター用紙を取り付ける場合：

- プリンターに取り付ける際にプリンター用紙の表面に触れないよう注意してください。指紋や汗、折り目などがつくと印画ムラの原因になります。
- プリンター用紙の先端に付いているラベルをはがしたら、必ず先端の 15 ～ 20cm を引き出してください。ラベルの跡が残っていると印画ムラの原因になります。

プリントした用紙を保管する場合：

- 下記の場所に保管してください。下記以外の場所に保管すると、プリンター用紙が変色したり、プリントした画面が薄くなることがあります。
  - 30 ℃以下の冷暗な場所（可塑材を含まない紙や、ポリプロピレンの袋などにはさんで保管してください。）
  - 湿度が低く、直射日光や室内光があたらない場所
  - アルコールなどの揮発性有機溶剤やセロハンテープ、塩化ビニールなどに触れない場所
- ジアゾ式の湿式コピー（青焼）と重ねないでください。また、プリント面どうしを重ねないでください。プリンター用紙が変色したり、プリントした画面が薄くなることがあります。

・プリンター用紙を接着する場合には、両面テープまたは水性のりをお使いください。

プリンター用紙を廃棄する場合：

不燃物として廃棄してください。

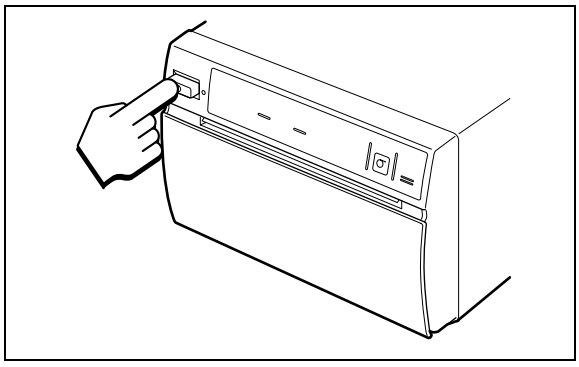
プリンター用紙を取り付ける

ご注意

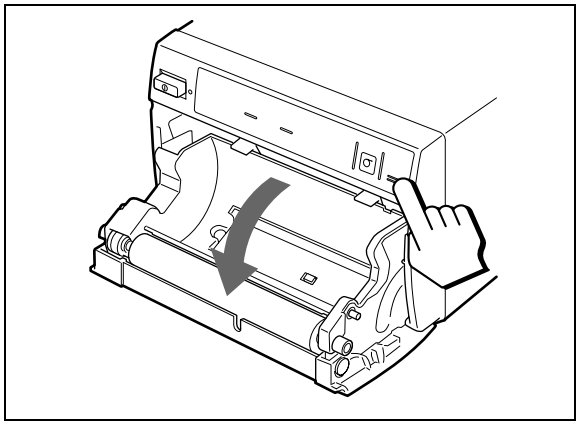
・プリンター用紙を取り付ける前に、「プリンター用紙について」（9 ページ）をご覧ください。
・プリンター用紙を取り付ける際は、プリンター用紙の表面には触れないでください。指紋や汗、折り目などがつくと、印画ムラなど、プリントした画面の品質の低下につながります。
・プリンター用紙には専用の UPP-110S/110HD/110HG 以外は使用しないでください。(9 ページ)
・お使いになる用紙に合わせて、必ず PAPER TYEPE スイッチを切り換えてください。(6 ページ)

取り付けるには

1 電源 ON/OFF スイッチを ON にし、電源を入れます。電源ランプが点灯します。



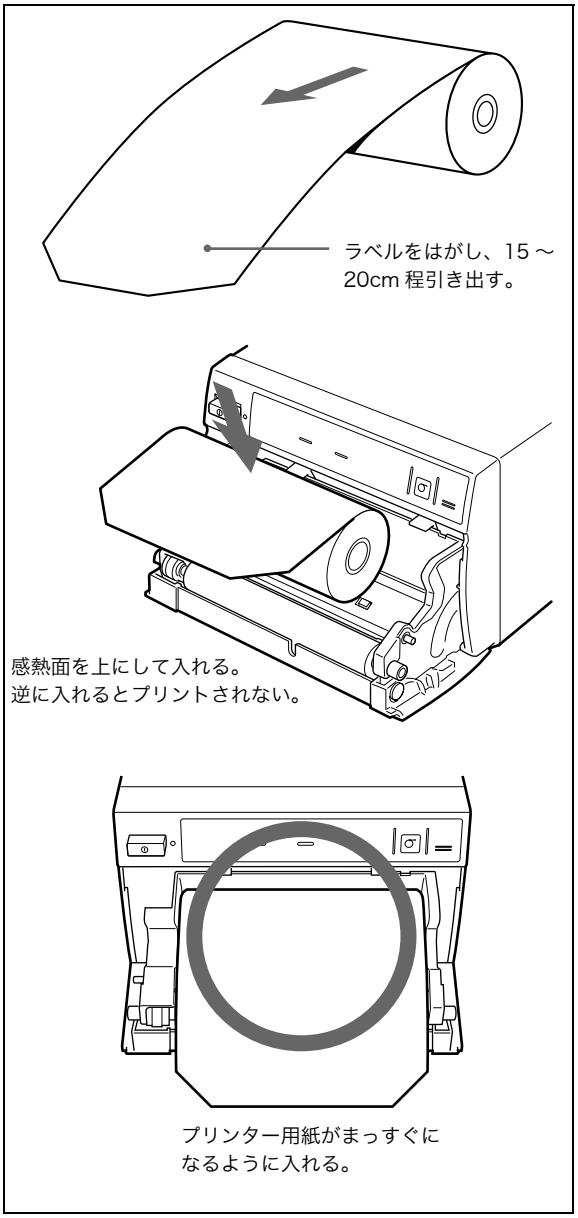
2 OPEN ボタンを押して、ドアを開けます。



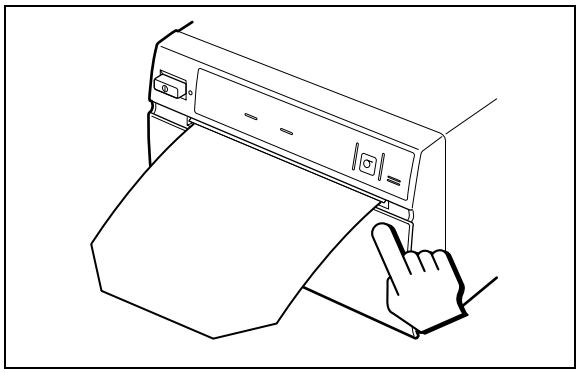
3 プリンター用紙の先端についているラベルをはがし、15 ～ 20cm 程度引き出してから、プリンター用紙トレーに用紙を入れます。

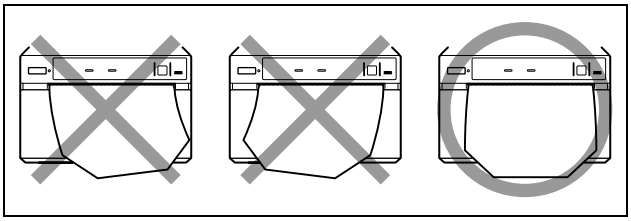
ご注意

プリンター用紙を引き出すときや、トレー内に入れるときは、プリンター用紙を落とさないようお気をつけください。ごみなどがつき、使用できなくなることがあります。



4 ドアを手で押して閉めます。





ご注意

- プリンター用紙が斜めに取り付けられていると、紙づまりなどの原因になります。
- 手順 3 でプリンター用紙を十分引き出さなかった場合は、**プリンター用紙を引っ張らずに**、前面パネルの FEED ボタンを押してプリンター用紙を引き出してください。

プリントするには

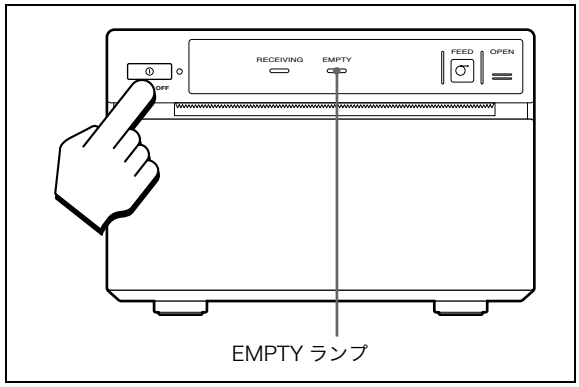
プリント前の確認

プリントする前に次のことを確認してください。

・接続は正しいですか？（7 ページ）
・DIP スイッチは正しく設定していますか？（8 ページ）
・プリンタードライバーをインストールしましたか？（8 ページ）
・プリント用紙は正しく取り付けてありますか？（10 ページ）

プリントする

1 電源 ON/OFF スイッチを ON にし、電源を入れます。電源ランプが点灯します。



2 EMPTY ランプが消灯していることを確認します。

3 アプリケーションソフトでプリントの操作をします。

プリントを中断するには

プリント中に、OPEN もしくは FEED ボタンを押します。プリント動作が止まります。

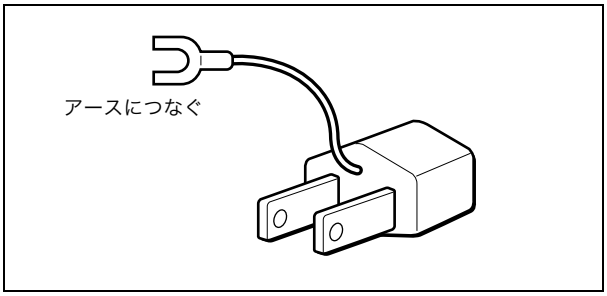
プリント用紙を送るには

FEED ボタンを押します。押している間、プリント用紙が送られます。**プリンター用紙は引っ張らないでください。**

使用上のご注意

電源について

・電源は AC100V をお使いください。
・付属の 3 芯− 2 芯 AC 変換アダプターを使う場合は、アース端子を必ず接地してください。



・電源コードは傷つけないでください。
・長い間使わないときは、電源コードを抜いておいてください。
・電源コードを抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。

安全のために

・キャビネットは絶対に開けないでください。内部に触れると危険です。
・内部にものを落とさないでください。
・ペーパーカッターには触れないでください。

置き場所について

・水平な場所に置いてください。傾けた状態で本機を使用すると故障の原因になります。
・暑い所や湿気の多い所に置かないでください。
・湿気の低い冬場では、湿度 35% 以上の環境で使うことをおすすめします。
・結露にご注意ください。
温度の低い場所から暖かい場所に移動したり、暖房で湯気や湿気がたち込めた部屋に置くと、本機の内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。この状態で本機を使用すると、正常に動かないばかりでなく、故障の原因になります。結露の可能性のあるときは、電源を切り、しばらくそのまま放置してください。

持ち運びについて

・ぶつけたり､落としたりしないように気をつけてください。
・持ち運びの際は、プリンター用紙を取り外してください。プリンター用紙を取り付けたまま持ち運ぶと故障の原因になることがあります。

お手入れ

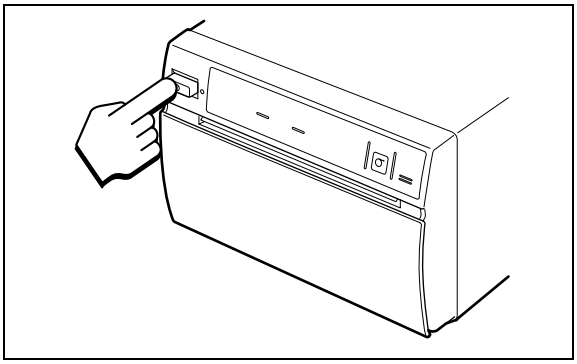
キャビネットのクリーニング

キャビネットの汚れは、水または水で薄めた中性洗剤溶液で湿らせた布をかたくしぼってから拭き取ってください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めることがありますので使用しないでください。

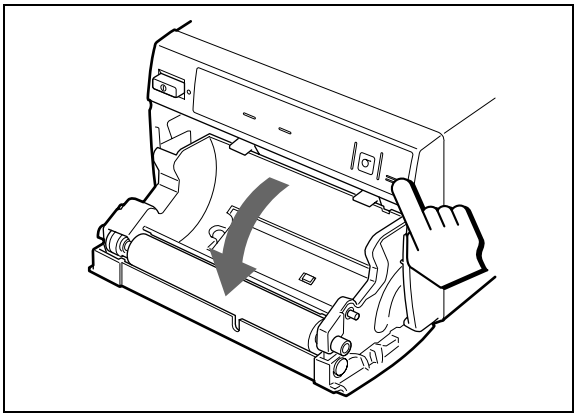
ヘッドのクリーニング

プリント画に白いスジが生じたら、付属のヘッドクリーニングシートでヘッドをきれいにしてください。

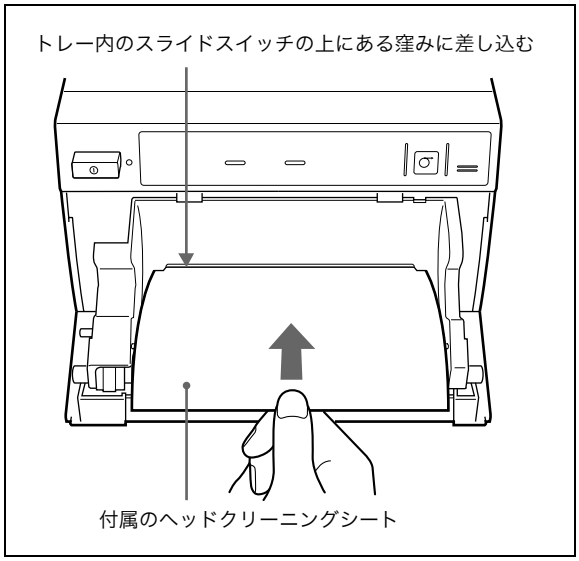
1 電源 ON/OFF スイッチを ON にし、電源を入れます。



2 OPEN ボタンを押し、ドアを開けます。

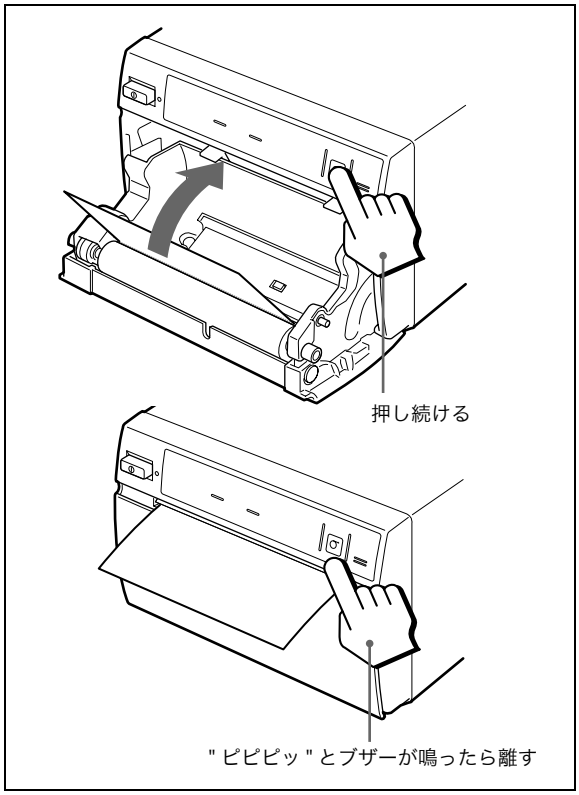


3 付属のヘッドクリーニングシートの黒い面を下にして、トレー内のスライドスイッチの上にある窪みに差し込みます。



4 ドアを手で押して閉めます。

5 FEED ボタンを、クリーニングシートが排出され始めるまで押し続け、ブザーが鳴ったら離します。



6 OPEN ボタンを押してドアを開け、ヘッドクリーニングシートを取り除きます。

7 ドアを手で押して閉めます。

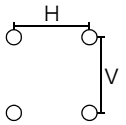
ご注意

ヘッドクリーニングシートは必要に応じてお使いください。ヘッドのクリーニングを頻繁に行うと、故障の原因になる場合があります。

主な仕様

プリンター

感熱ヘッド　薄膜サーマルヘッド　1280 ドット
階調数　256 階調（8 ビット）
メモリー容量　4096 × 1280 × 8 (bit)
画面寸法　最大 320 × 100 mm
プリント速度　約 5.1 秒 /1 画面（1280 × 1280 ドット時）
画素数　最大 4096 × 1280 ドット
画素密度　H：100 mm/1280 ドット＝ 0.078 mm/ ドット
V：100 mm/1280 ドット＝ 0.078 mm/ ドット
正方ドット



電源　AC100V、50/60Hz
消費電力　20W（スタンバイ時）
120W（プリント時）
動作温度　5 ℃～ 35 ℃
動作湿度　20% ～ 80%
保管／輸送時温度
－ 20 ℃～ 60 ℃
保管／輸送時湿度
20% ～ 90%
最大外形寸法　154 × 105 × 260mm（幅 / 高さ / 奥行き）
質量　3.4kg（本体のみ）
付属品　プリンター用紙（UPP-110HG）(1)
AC 電源コード (1)
3 芯－ 2 芯 AC 変換アダプター (1)
ヘッドクリーニングシート (1)
プリンタードライバーディスク (1)
取扱説明書 (1)
サービス窓口のしおり・ご相談窓口のご案内 (1)
保証書 (1)
ソフトウェア使用契約書 (1)
メディアラベル (1)

インターフェース

パラレルインターフェース

制御用端子　IEEE1284-B コネクター（D-sub 36 ピン）
入力：最大 5 V（TTL）
出力：最大 5 V（TTL）
データ転送方式　8 ビット、パラレル、IEEE STD 1284-1994 準拠
・ Compatible
・ Reverse Nibble
・ ECP
ロジックレベル　TTL

パラレルインターフェースコネクターのピン配列

Pin 番号	I/O	信号		
		インターフェースのモード		
		Compatible	Nibble	ECP
1	I	nStrobe	HostClk	HostClk
2	I/O	Data1（LSB）		
3	I/O	Data2		
4	I/O	Data3		
5	I/O	Data4		
6	I/O	Data5		
7	I/O	Data6		
8	I/O	Data7		
9	I/O	Data8（MSB）		
10	O	nACK	PtrClk	PeriphClk
11	O	Busy	PtrBusy	PeriphAck
12	O	PError	AckDataReq	nAckReverse
13	O	Select	Xflag	Xflag
14	I	nAutoFd	HostBusy	HostAck
15		Not defined		
16-17		GND		
18	O	Periphral Logic High（1kΩ で +5V にプルアップ）		
19-30		GND		
31	I	nInit	nInit	nReverseRequest
32	O	nFault	nDataAvail	nPeriphRequest
33		Not defined		
34		Not defined		
35		Not defined		
36	I	nSelectIn	IEEE 1284 Active	IEEE 1284 Active

UP-D895 は、双方向パラレルインターフェース（IEEE STD 1284-1994）規格のうち、Compatible モード、Reverse Nibble モードおよび ECP モードに対応しています。

USB インターフェース

データ転送方式　Universal Serial Bus Specification Revision 1.0 準拠

USB インターフェースコネクターのピン配列

Pin 番号	I/O	信号名	機能
		VCC	ケーブル電源、最大電流 100mA
	I/O	-Data	データ
	I/O	+Data	データ、1.5kΩ の抵抗を経由して +3.3V にプルアップ
		Ground	ケーブルグランド

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

本機は「JIS C 61000-3-2 適合品」です。

故障とお考えになる前に

修理にお出しになる前にもう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にお問い合わせください。

こんなときは	ご確認ください
細かいゴミが最初にプリントした数枚に現れる。	プリンター用紙を交換したばかりではありませんか？ →FEED ボタンを押して、紙を 15 ～ 20 cm 引き出してからプリントしてください。
パソコンから画像を伝送してもプリントしない。	・ 用紙が送られない場合 →電源は入っていますか？ →正しく接続されていますか？ →用紙がたるんでいませんか？ ・ アラームブザーが鳴った場合 →サーマルヘッドが温度上昇していませんか？真っ黒に近い画像を連続してプリントすると、サーマルヘッドの温度が上昇する場合があります。この場合、EMPTY ランプが点滅しています。しばらくプリントをやめてください。 →用紙は正しく取り付けてありますか？ ・ 用紙は送られるがプリントされない場合 →用紙の感熱面を上にして取り付けましたか？（10 ページ）
パソコンのパラレルポートを ECP モードにしても、データ転送が速くならない。	・ お使いのパソコンは ECP モードに対応していますか？ →パラレルポートの設定が ECP モードと表示されていても、実際には ECP モードで動作しないパソコンがあります。詳しくは、パソコンのメーカーサポート窓口にご相談ください。
紙詰まりが起きた。	・ OPEN ボタンを押してドアパネルを開け、プリンター用紙を取り出してから、詰まった紙を手でゆっくり引き出してください。 ・ プリンターが結露していませんか？ →寒い所から急に暑い所にプリンターを移すと、内部に水滴がつくこと（結露）があります。結露したら電源を切ったまま 1～2時間放置してください。
印画ムラが起きる。	ヘッドが汚れていませんか？ →付属のヘッドクリーニングシートを使って、ヘッドをきれいにしてください。（14 ページ）
全面が真っ黒に近い画像を連続してプリントしたら、プリントしなくなってしまった。	真っ黒に近い画像を 15 枚以上プリントすると、それ以上プリントしなくなることがあります。サーマルヘッドの温度上昇を抑えるために保護回路が動作しているためです。 →しばらくプリントをやめてください。

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも調子の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、またはお近くのソニーの業務用ご相談窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、デジタルグラフィックプリンター UP-D895 の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低 10 年保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては、修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

WARNING

To prevent fire or shock hazard, do not expose the unit to rain or moisture.

To avoid electrical shock, do not open the cabinet. Refer servicing to qualified personnel only.

THIS APPARATUS MUST BE EARTHED.

Symbol on the products

This symbol indicates the equipotential terminal which brings the various parts of a system to the same potential.

This symbol is intended to alert the user to the presence of important operating and maintenance (servicing) instructions in the literature accompanying the appliance.

For the customers in the U.S.A.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference in which case the user will be required to correct the interference at his own expense.

You are cautioned that any changes or modifications not expressly approved in this manual could void your authority to operate this equipment.

This device requires shielded interface cables to comply with FCC emission limits.

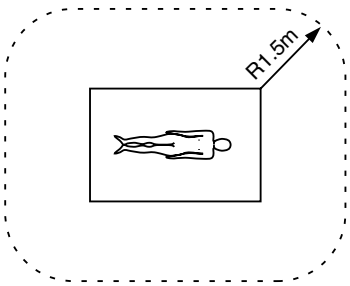
For the customers in Canada

This unit has been certified according to Standard CSA C22.2 NO.601.1.

Important safeguards/notices for use in the medical environments

1 All the equipments connected to this unit shall be certified according to Standard IEC60601-1, IEC60950, IEC60065 or other IEC/ISO Standards applicable to the equipments.

2 When this unit is used together with other equipment in the patient area*, the equipment shall be either powered by an isolation transformer or connected via an additional protective earth terminal to system ground unless it is certified according to Standard IEC60601-1.
* Patient Area



3 The leakage current could increase when connected to other equipment.

4 This equipment generates, uses, and can radiate frequency energy. If it is not installed and used in accordance with the instruction manual, it may cause interference to other equipment. If this unit causes interference (which can be determined by unplugging the power cord from the unit), try these measures: Relocate the unit with respect to the susceptible equipment. Plug this unit and the susceptible equipment into different branch circuit. Consult your dealer. (According to Standard EN60601-1-2 and CISPR11, Class B, Group 1)

Caution

When you dispose of the unit or accessories, you must obey the law in the relative area or country and the regulation in the relative hospital.

Warning on power connection

Use a proper power cord for your local power supply.

Warning on power connection for medical use

Please use the following power supply cord.
With connectors (plug or female) and cord types other than those indicated in this table, use the power supply cord that is approved for use in your area.

	United States	**Canada**
Plug type	HOSPITAL GRADE*	HOSPITAL GRADE*
Female end	E62405, E35708	LR53182, LL022442, LL088408
Cord type	E159216, E35496 Min.Type SJT Min.18 AWG	LL112007-1, LL20262, LL32121, LL84494 Min.Type SJT Min.18AWG
Minimum cord set rating	10A/125V	10A/125V
Safety approval	UL Listed	CSA

*Note: Grounding reliability can only be achieved when the equipment is connected to an equivalent receptacle marked 'Hospital Only' or 'Hospital Grade'.

Overview

Quiet, High Quality, Fast Printing

- Employs a thin thermal head with a built-in high speed drive IC, capable of high resolution images of 12.8 dots/mm.
- Print speeds of approximately 1 high quality image (1280 × 1280 dpi) every 5.1 sec.
- Standard image memory capable of handling and printing images up to 4096 × 1280 dots (approx. 320 × 100mm).
- Monochrome printing with up to 256 shades of gradation.
- Built-in temperature correction circuits prevent temperature changes which could cause blurred prints.

USB and Parallel Interfaces

The printer is provided with both a USB and bi-directional IEEE 1284 standard parallel interface, making the printer available for use with a wide variety computers.

Expand Printed Image to Match Paper Size

Images smaller than the paper can be set for automatic enlargement to match the size of the paper.

Margin Settings Possible

Smaller margins can be set to allow printing more images with one roll of paper.

Error Alarm Function

To prevent errors, an alarm buzzer tells you when you make a mistake.

Easy Paper Loading

Free access to the door panel allows you to drop paper into the printer for easy loading.

Table of Contents

Getting Started

Part Names and Functions 4
Connections 5
USB Port Connection 5
Parallel Port Connection 5
Installing the Printer Driver 6
Setting the DIP Switches 6
Printer Paper 7
Print Paper You Can Use 7
Loading Paper in the Printer 8
Loading Paper 8
Printing 9
Before Starting a Print Job 9
Starting a Print Job 9
Canceling a Print Job 9
Feeding Paper 9

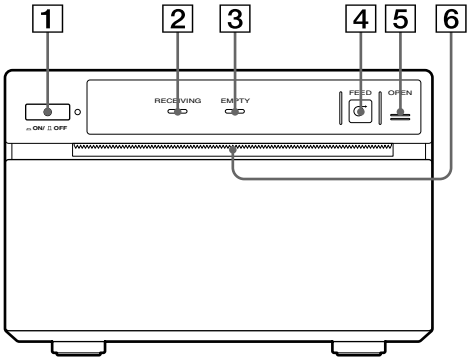
Others

Precautions 10
On safety 10
On operation 10
On the printer carriage 10
On installation 10
Maintenance 10
Cleaning the Cabinet 10
Cleaning the Thermal Head 10
Specifications 12
Printer 12
Interface 12
Medical Specifications 13
Troubleshooting 13

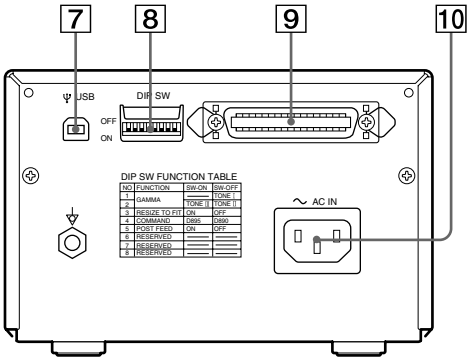
Part Names and Functions

For more details, see the referenced pages numbers enclosed in parentheses ( ).

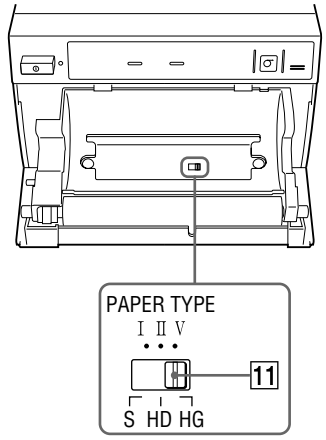
Front



Rear



Slide switch inside the paper tray



1 Power ON/OFF Switch, Power Lamp (8, 9, 10)
Switch to ON to power and light the power lamp.

2 RECEIVING lamp
Lights while the printer is receiving print data from the computer.

3 EMPTY lamp (9)
Lights when the printer runs out of paper. Flashes while the temperature control circuits are heating the thermal head.

4 FEED button (9, 11)
Hold down to feed paper. While a print job is in progress, press to cancel the print job.

5 OPEN button (8, 9, 10)
Press to open the paper door. While a print job is in progress, press to cancel the print job.

6 Paper cutter
Cuts the paper as each image is printed.

7 USB connector (5)
Connects to a computer or another USB peripheral device with a USB cable.

8 DIP SW (6~7)
Select the image mode.

9 Parallel connector (36-pin Amphenol) (5)
Connects to a computer or another parallel device with a Centronics Standard interface cable.
For the ECP mode, an IEEE STD 1284 Standard cable is required.

10 AC IN connector
Connects the AC power cord provided with the printer.

11 PAPER TYPE switch
Selects the printer paper.
Select the paper type according to the type of paper that you are going to use.

Paper Type	Switch Postion
UPP-110S	I (Normal)
UPP-110HD	II (High Density)
UPP-110HG	V (High Glossy)

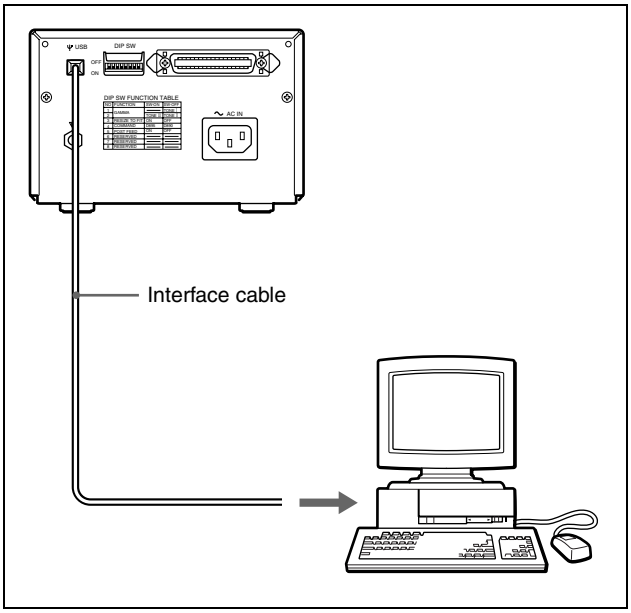
Connections

After connecting the computer interface cable to the computer and the printer, connect the power cord. The interface cable may vary depending on the computer in use. For details about printer connection, refer to the manuals for the computer or other peripheral devices.

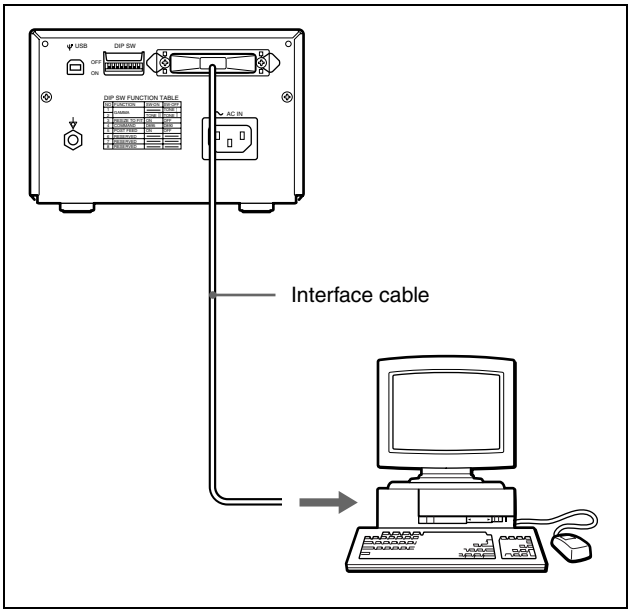
Notes

- Before connecting the printer to the computer, switch off the printer, computer, monitor, and all peripheral devices connected to the computer.
- Before connecting the printer to the computer, disconnect the power cord from the printer. Connect the power cord to the printer only after connecting the printer and the computer.
- To connect the printer and computer, use an interface cable that matches either the USB or Centronics parallel connections on the printer.
- Follow the connection procedures described in the computer manual.
- An interface cable less than 2 meters (about 6 1/2 ft.) long and protected with ferrite core seals at both connectors is recommended.
- Make sure that the interface cable is connected securely at both ends.
- The printer driver software provided with the printer is not suitable for using the printer connected to a network.
- Operation of the printer is not guaranteed for connection to a USB hub.
- **If a USB cable and parallel printer cable are connected at the same time, only the USB connection is used and the parallel connection cannot be used.**

USB Port Connection



Parallel Port Connection



Note

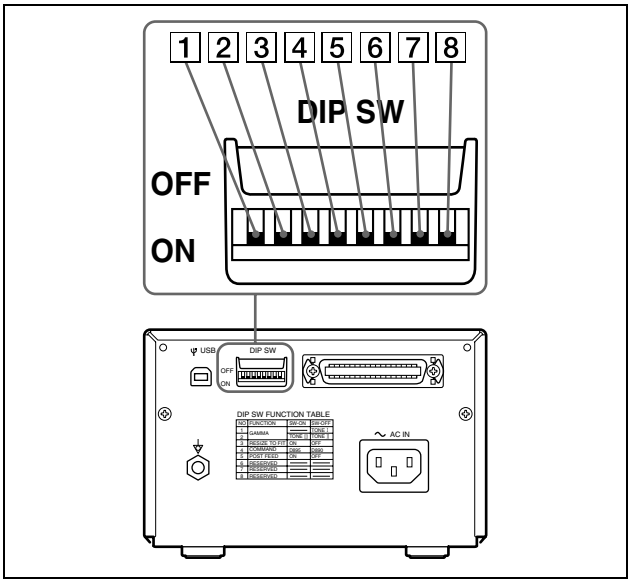
An IEEE STD 1284 interface cable is required in order to use the printer in the ECP mode, and the computer must be set to use the local parallel port. For details, refer to your computer manual.

Installing the Printer Driver

Install the printer driver provided with the printer. For detailed instructions about how to install the printer driver, refer to the Readme.txt file on the printer driver installer disk.

Setting the DIP Switches

Set the DIP switches for how you intend to use the printer. To change the DIP switches, first **switch off the printer** and then use a small screwdriver with a small point to move the switches.
The factory settings are shown below.



DIP SW FUNCTION TABLE

No.	Function	ON	OFF
1	GAMMA	———	TONE I
2		TONE III	TONE II
3	RESIZE TO FIT	ON	OFF
4	COMMAND	D895	D890
5	POST FEED	ON	OFF
6	RESERVED	———	———
7	RESERVED	———	———
8	RESERVED	———	———

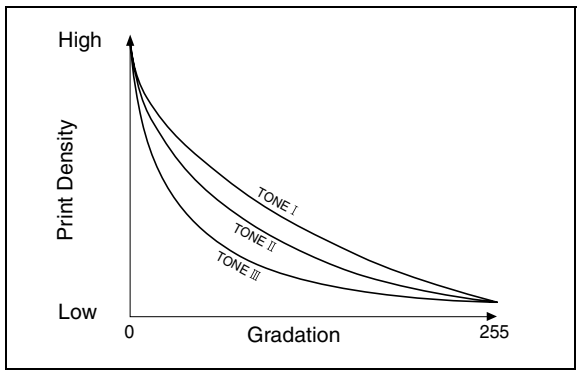
1 2 GAMMA switch

Switches the screen tone. **This setting is enabled only after 4 COMMAND is set OFF to select D890.**

Print Mode	GAMMA Switch Position	
	1	2
TONE I	OFF (TONE 1)	Enabled for either
TONE II	ON (-)	OFF (TONE II)
TONE III	ON (-)	ON (TONE III)

When TONE I is selected for GAMMA, the 2 GAMMA switch can be at either position, but we recommend leaving the switch at the ON position (factory setting).

The diagram below shows the curve for each tone.



3 RESIZE TO FIT

This selection is enabled when 4 COMMAND is set for D890.

ON: The printed image is enlarged about 25% and is printed as the same size as with the UP-D890.

OFF: The printed image is not enlarged. Compared to UP-D890 output, the printed image is about 25% smaller. (This is because pixel density with the UP-D895 is about 25% higher than with the UP-D890).

4 COMMAND switch

Set this switch to OFF when using the UP-D895 with software applications intended for the UP-D890.

5 POSTFEED switch

Selects the paper feed method for after printing.

ON: Feeds extra blank paper between prints.

OFF: Feeds less paper between prints to conserve paper, or when printing multiple pictures on the same sheet. More pictures can be printed on one sheet, but because there is so little space between printed pictures, you must press the FEED button before cutting the paper.

6 7 8 RESERVED switch

Ordinarily, leave these switches set to ON (the factory setting).

Printer Paper

Use only Sony UPP-110S/110HD/110HG paper designed for use with this printer. High print quality cannot be guaranteed if any other paper is used with this printer, and such paper could damage the printer.
Printer paper intended for use with the UP-D890 cannot be used with the UPP-110HA.

Print Paper You Can Use

Print paper characteristics are as follows.

Print Characteristics	Paper Type
TYPE I (Normal)	UPP-110S
TYPE II (High Density)	UPP-110HD
TYPE V (High Glossy)	UPP-110HG

Storing and Handling Paper

- Stored unused paper at a temperature below 30°C (86°F) in a dry location that is not exposed to direct sunlight.
- Do not store unused paper near volatile liquids or allow the paper to contact any organic volatile liquid, cellophane tape, or any compound of vinyl chloride.
- Handle the paper carefully when loading to avoid touching the printing surface with your fingers. Perspiration or oil from you hands could cause pictures to blur.
- After removing the label from the leading edge of the paper, pull the paper out 15~20 cm (about 6~8 in.) before printing. Label adhesive remaining on the paper could spoil a picture.
- To prevent printed pictures from fading or changing color, store them in a cool, dry location where the temperature is not higher than 30°C (86°F).
- Store printed pictures in a polypropylene pouch or between sheets of paper that contain no plastic.
- Do not store printed pictures where they will be exposed to direct sunlight or high humidity.
- Do not store printed pictures near volatile liquids or allow the prints to contact any organic volatile liquid, cellophane tape, or any compound of vinyl chloride.
- To prevent fading, stack prints on or under a diazo copy sheet.
- To mount prints on another sheet of paper, use double-sides tape or a water base adhesive.
- Do not incinerate waste printer paper.

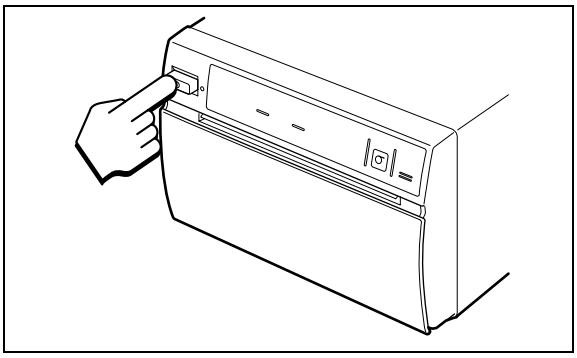
Loading Paper in the Printer

Notes

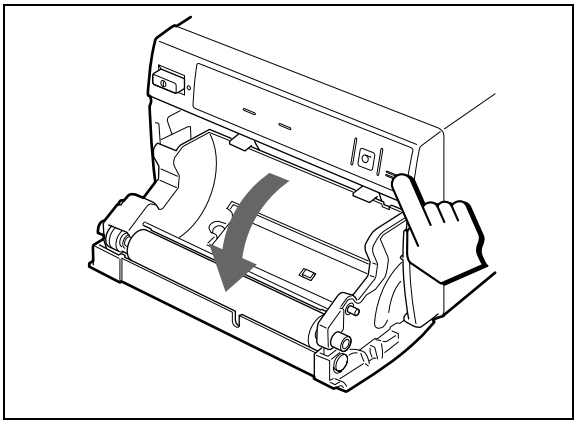
- Before loading paper in the printer, see “Storing and Handling Paper” (on page 7).
- Always handle print paper carefully when loading to avoid adversely affecting the quality of the printed pictures. Never bend or crease the paper and never touch the printing surface with your fingers. Fingerprints perspiration can blur printing.
- Do not use any paper other than UPP-110S/110HD/110HG paper. (page 7)
- Confirm that the PAPER TYPE switch is set correctly for the type of paper loaded in the printer. (page 4)

Loading Paper

1 Press the power ON/OFF switch to turn the printer on. The power lamp lights.



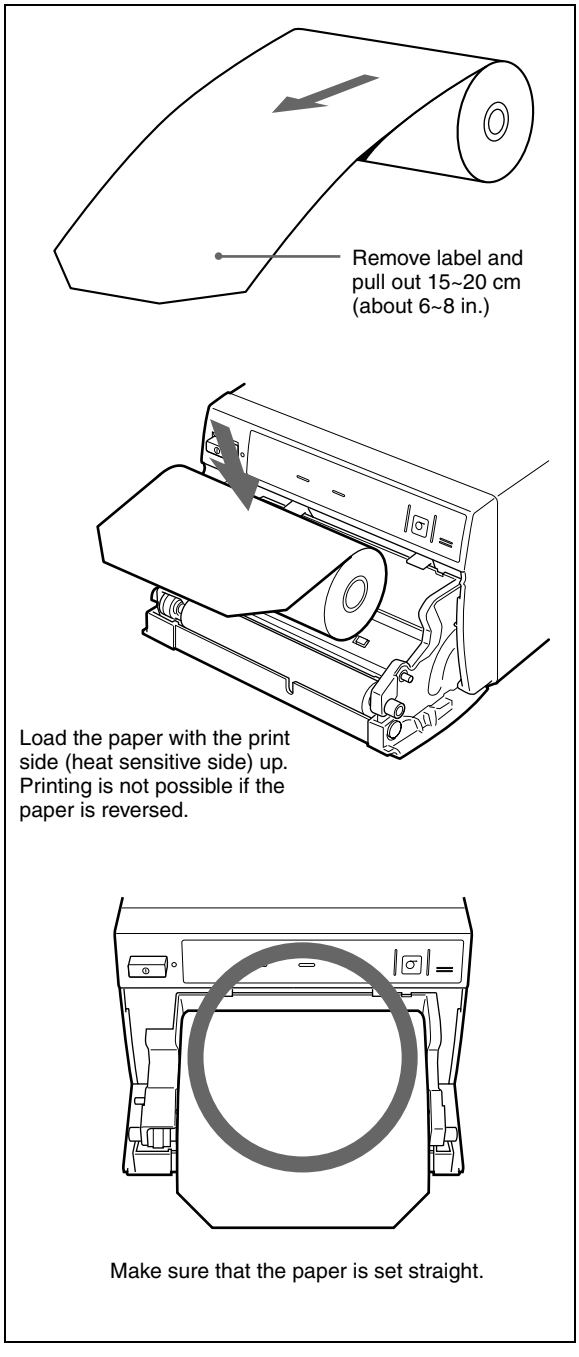
2 Press the OPEN button to open the paper door.



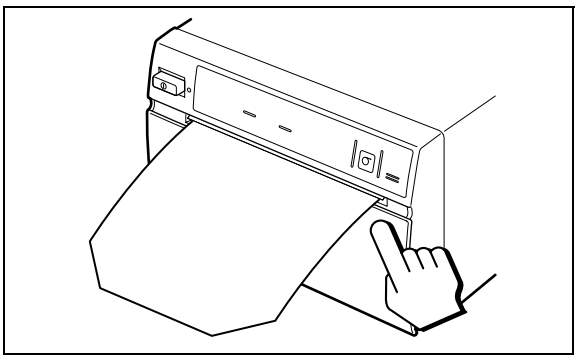
3 Remove the label from the leading edge of the printer paper, pull out about 15~20 cm (about 6~8 in.) of the paper, and then set the paper roll in the paper tray.

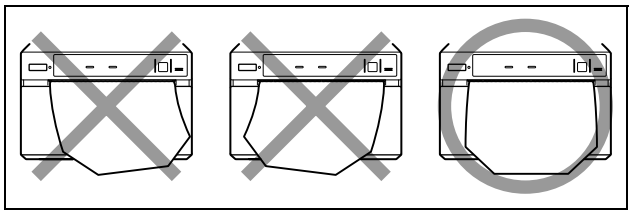
Note

To avoid exposing the printer paper to dust, dirt, etc. always handle it carefully when removing from its package and loading it in the printer. Paper exposed to dirt or dust cannot be used for printing.


Remove label and pull out 15~20 cm (about 6~8 in.)
Load the paper with the print side (heat sensitive side) up. Printing is not possible if the paper is reversed.
Make sure that the paper is set straight.

4 Close the paper door and press on it to shut it.





Notes

- Make sure that the paper is loaded straight. If it is skewed, this could cause the paper to jam.
- If you did not pull out enough paper at Step 3, **without pulling on the paper** press the FEED button on the operation panel to feed some more paper out of the printer.

Printing

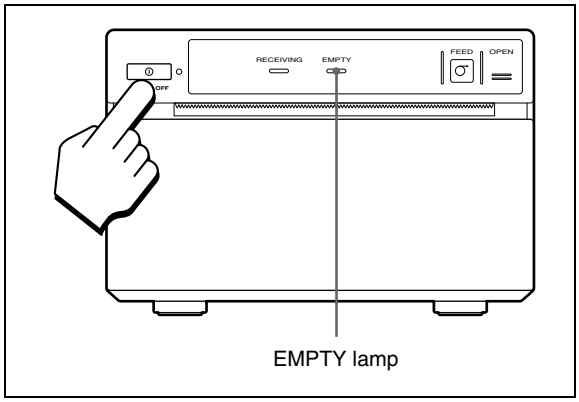
Before Starting a Print Job

Always check the following points:

- Printer connected correctly? (page 5)
- DIP switches set correctly? (page 6)
- Printer driver installed? (page 6)
- Paper loaded correctly? (page 8)

Starting a Print Job

1 Press the power ON/OFF switch to turn the printer on. The power lamp lights.



2 Confirm that the EMPTY lamp is off. If it is on, load paper.

3 Execute the print job with the software application.

Canceling a Print Job

To cancel a print job in progress, press the OPEN button or the FEED button.

Feeding Paper

To feed paper, press the FEED button. The printer will continue to feed paper as long as you hold down the FEED button. **Do not attempt to pull paper out of the printer with your hand.**

Precautions

On safety

- Check the operating voltage before operation. Operate the unit only with a power source specified in "Specifications".
- Stop operation immediately if any liquid or solid object falls into the cabinet. Unplug the unit and have it checked by qualified personnel.
- Unplug the unit from the wall outlet if you will not be using it for a long time. Disconnect the power cord by grasping the plug. Never pull the cord itself.
- Do not disassemble the cabinet. Refer servicing to qualified personnel only.
- Do not touch the cutting blade of the printer.
- Connect the power plug of the printer to a wall outlet with a protective earth terminal. The safety earth should be properly established.

On operation

Do not turn the power off while the printer is printing. The thermal head may be damaged.

On the printer carriage

Do not carry or move the printer when the paper roll is placed in the printer. Doing so may cause a malfunction.

On installation

- Place the printer on a level and stable surface. If you use the printer with placed on an uneven surface, malfunction of the printer is likely to occur.
- Do not install the printer near heat sources. Avoid locations near radiators or air ducts, or places subject to direct sunlight or excessive dust, humidity, mechanical shock or vibration.
- Provide adequate air circulation to prevent heat build-up. Do not place the printer on surfaces such as rugs, blankets, etc., or near materials such as curtains and draperies.
- If the printer is subjected to wide and sudden changes in temperature, such as when it is moved from a cold room to a warm room or when it is left in a room with a heater that tends to produce large amounts of moisture, condensation may form inside the printer. In such cases the printer will probably not work properly, and may even develop a fault if you persist in using it. If moisture or condensation forms, turn off the power and allow the printer to stand for at least one hour.

Maintenance

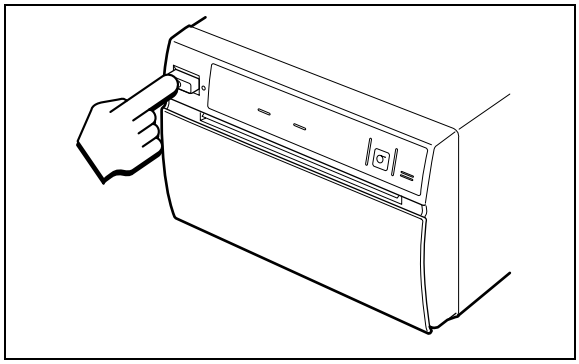
Cleaning the Cabinet

Use a wrung out damp cloth, or a damp cloth soaked in water and a mild detergent, to clean the cabinet surface. To avoid damaging the printer cabinet, never use alcohol, thinner, or any other type of organic solvent, or any type of abrasive cleaner, to clean the printer cabinet.

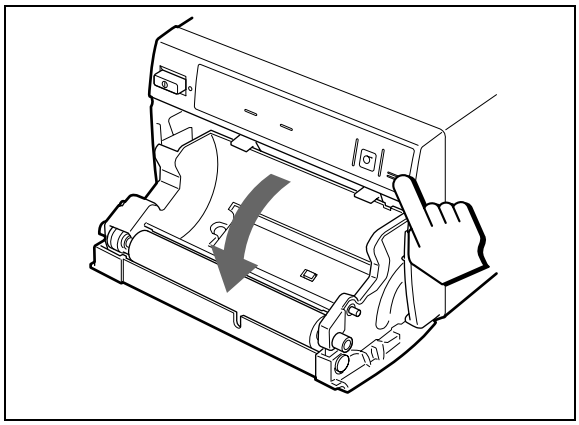
Cleaning the Thermal Head

If a printout appears dirty, or if you see white stripes in a printout, use the cleaning sheet (provided with the printer) to clean the thermal head.

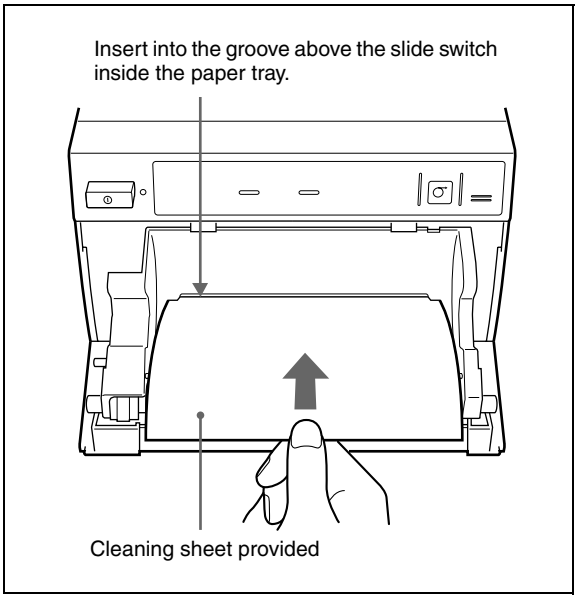
1 Press the power button ON/OFF switch to turn on the printer.



2 Press the OPEN button to open the paper door.

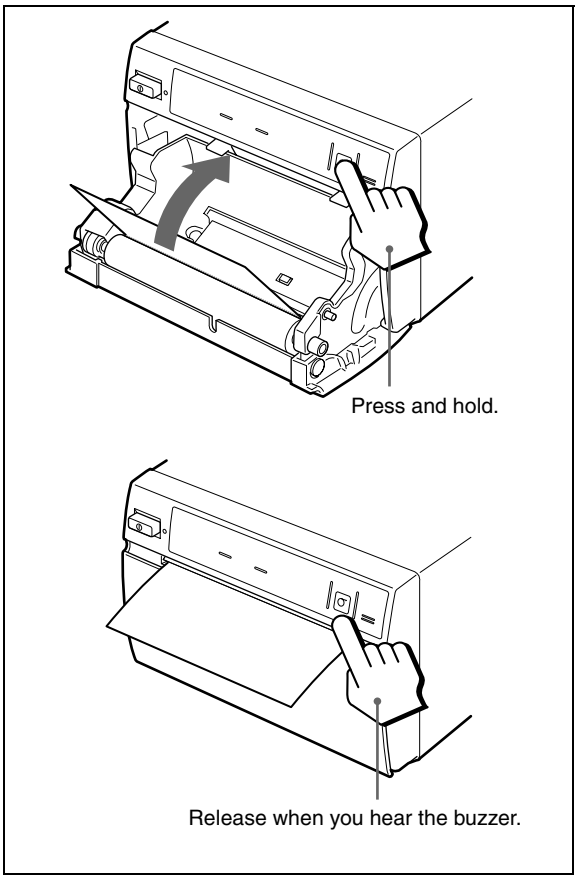


3 With its black surface down, insert the cleaning sheet into the groove above the slide switch inside the paper tray.



4 Close the paper door and press it to shut it.

5 Hold down the FEED button until the cleaning sheet starts to eject. When you hear the buzzer, release the FEED button.



6 Press the OPEN button to open the paper door, and then remove the cleaning sheet.

7 Close the paper door.

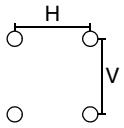
Note

Use the cleaning sheet to clean the thermal head only when required. Frequently cleaning the thermal unnecessarily could damage the thermal head.

Specifications

Printer

Thermal head Thin-film thermal head, 1280 dots
Gradation 256-level gradation (8-bit)
Memory capacity
4096 × 1280 × 8 (bit)
Picture size 320 × 100 mm (max.)
Printing speed About 5.1 sec./image (1280 × 1280 dots)
Picture elements
4096 × 1280 dots (max.)
Dot density H: 100 mm/1280 dots = 0.078
V: 100 mm/1280 dots = 0.078
Square dots



Power supply 100 to 120V AC, 50/60Hz, 1.5A
220 to 240V AC, 50/60Hz, 0.8A
Temperatures Operating
5°C ~ 35°C (41°F ~ 176°F)
Storage/Transport
–20°C ~ 60°C (–4°F ~ 140°F)
Humidity Operating
20% ~ 80%
Storage/Transport
20% ~ 90%
Dimensions 154 × 105 × 260 mm (w × h × d)
6.1 × 4.1 × 10.2 in. (w × h × d)
Weight 3.4 kg (1.54 lb.) (printer only)
Accessories provided
Printer paper UPP-110HG × 1 roll
AC power cord × 1
Thermal head cleaning sheet × 1
Printer driver × 1
Instructions for Use × 1
Service Contact List × 1
Software License × 1
Media label × 1

Interface

Parallel Interface

Control connector
IEEE1284-B Connector (D-sub 36-pin)
Input: 5V (TTL) (max.)
Output: 5V (TTL) (max.)
Data transmission
8-bit, parallel, IEEE STD 1284-1994 Standard
Compatible, Reverse nibble, ECP
Logic level TTL

Parallel Interface Connector Pin Assignment

Pin	I/O	Signal		
		Interface Mode		
		Compatible	Nibble	ECP
1	I	nStrobe	HostClk	HostClk
2	I/O	Data1 (LSB)		
3	I/O	Data2		
4	I/O	Data3		
5	I/O	Data4		
6	I/O	Data5		
7	I/O	Data6		
8	I/O	Data7		
9	I/O	Data8 (MSB)		
10	O	nACK	PtrClk	PeriphClk
11	O	Busy	PtrBusy	PeriphAck
12	O	Perror	AckDataReq	nAckReverse
13	O	Select	Xflag	Xflag
14	I	nAutoFd	HostBusy	HostAck
15		Not defined		
16-17		GND		
18	O	Peripheral Logic High (pull up to +5V at 1kΩ)		
19-30		GND		
31	I	nInit	nInit	nReverseRequest
32	O	nFault	nDataAvail	nPeriphRequest
33		Not defined		
34		Not defined		
35		Not defined		
36	I	nSelectIn	IEEE 1284 Active	IEEE 1284 Active

UP-D895 is compatible with the Compatible, Reverse Nibble, and ECP Modes with the bi-directional parallel interface (IEEE STD 1284-1994).

USB Interface

Data transmission
Universal Serial Bus Specification Rev. 1.0 Standard

USB Interface Connector Pin Assignment

Pin	I/O	Signal	Function
		VCC	Cable power, Max. current 100mA
	I/O	–Data	Data
	I/O	+Data	Data, pull up to +3.3V through a 1.5kΩ resistance
		Ground	Cable ground

The design and these specifications are subject to change without prior notification.

Medical Specifications

Protection against electric shock:
Class I
Protection against harmful ingress of water:
Ordinary
Degree of safety in the presence of flammable anesthetics or oxygen:
Not suitable for use in the presence of flammable anesthetics or oxygen
Mode of operation:Continuous

Troubleshooting

Before you call for service, please check the problems and solutions described below. If you cannot solve the problem, contact the nearest SONY authorized dealer.

Problem	Solution
First few prints spotted with small dots.	New paper roll just installed? →If a new roll of paper has just been loaded, paper dust may cause white spots in printed images. Press the FEED button and hold it down to feed about 15~20 cm (6~8 in.) and then release.
Print job does not start.	• Paper does not feed. →Power switched on? →Printer connected correctly? →Paper out? • Alarm sounds. →Thermal head overheated? A high density print job, i.e. printing all black, could cause the thermal head to overheat. When overheated, the EMPTY lamp flashes. Cancel the print job and allow the printer to cool. →Paper loaded correctly? • Paper feeds but printing does not start. →Printer paper loaded with the wrong side up? (page 8)
Data transmission is not faster, even after setting the parallel port to ECP mode.	• Does the computer support the ECP mode? →Even if the ECP Mode option is displayed in the printer driver, some computers may not support ECP mode. For details, contact your computer vendor or manufacturer.
Paper Jams	• Jammed paper visible? →Press the OPEN button to open the paper door, and then gently pull the jammed paper out of the printer. • Condensation collected in printer? →If the printer has just been brought into a warm room from a cold location, condensation may have formed inside the printer. Switch the printer off and let it set for 1 - 2 hours (until it warms to room temperature), then try printing again.
Printouts dirty.	Thermal head dirty? →Use the head cleaning sheet provided with the printer to clean the thermal head. (page 10)
Printer halts during continuous black printing.	When printing 15 or more pictures containing solid black areas, the thermal head protection circuit may shut down the printer to prevent the thermal head from overheating. →Stop printing and allow the thermal head to cool.

AVERTISSEMENT

Pour prévenir tout risque d'incendie ou d'électrocution, garder cet appareil à l'abri de la pluie et de l'humidité.

Pour prévenir tout risque d'électrocution, ne pas ouvrir le boîtier. Confier l'entretien de cet appareil exclusivement à un personnel qualifié.

CET APPAREIL DOIT ETRE RELIE A LA TERRE.

Symbole

Ce symbole indique la borne équipotentielle qui ramène les différentes parties d'un système à la même tension.

Ce symbole est destiné à attirer l'attention de l'utilisateur sur la présence d'instructions d'utilisation et de maintenance (réparation) importantes dans la documemtation accompagnant l'appareil.

Pour les utilisateurs au Canada

Cet appareil a été homologué conformément à la norme CSA C22.2 No.601.1.

Avertissement sur le connecteur d'alimentation

Utiliser un cordon d'alimentation approprié à votre tension d'alimentation secteur locale.

Avertissement sur le connecteur d'alimentation pour usage médical

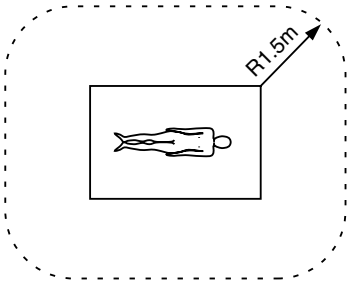
Prière d'utiliser le code d'alimentation électrique suivant.
Avec des connecteurs (fiche ou fiche femelle) et des types de câbles différents de ceux indiqués dans ce tableau, utiliser le câble d'alimentation électrique agréé pour votre secteur.

	Etats-Unis	Canada
Type de fiche	CLASSE HOPITAL*	CLASSE HOPITAL*
Fiche femelle	E62405, E35708	LR53182, LL022442, LL088408
Type de câble	E159216, E35496 Min.Type SJT Min.18 AWG	LL112007-1, LL20262, LL32121, LL84494 Min.Type SJT Min.18AWG
Intensité nominale du câble minimale	10A/125V	10A/125V
Agréation de sécurité	UL Listed	CSA

*Remarque : La fiabilité de la mise à la terre n'est réalisable que si l'équipement est branché sur une prise de courant équivalente identifiée 'Hôpital uniquement' ou 'Classe hôpital'.

Instructions de sécurité importantes en vue d'une utilisation dans un environnement médical

1 Tous les équipements raccordés à cet appareil doivent être agréés suivant les normes IEC 60601-1, IEC 60950, IEC 60065 ou les autres normes IEC/ISO applicables à ces équipements.
2 Si cet appareil est utilisé conjointement avec d'autres équipements à proximité d'un patient*, ces équipements doivent être alimentés par un transformateur d'isolement ou raccordés à la mise à la terre du système par une borne de terre de protection sauf s'ils sont agréés suivant la norme IEC 60601-1.
* Proximité d'un patient



3 Dans le cas d'une connexion à d'autres équipements, le courant de fuite peut augmenter.
4 Cet appareil génère, utilise et peut émettre des radiofréquences. S'il n'est pas installé et utilisé conformément au mode d'emploi, il peut provoquer des interférences avec d'autres appareils. Si cet appareil génère des interférences (ce que l'on peut facilement contrôler en débranchant le cordon d'alimentation de l'appareil), appliquez l'une des mesures suivantes : Installez cet appareil à un autre endroit en tenant compte de l'autre équipement. Branchez cet appareil et l'autre équipement sur des circuits d'alimentation différents. Consultez votre revendeur. (Suivant les normes EN60601-1-2 et CISPR11, Classe B, Groupe 1)

Attention

Lorsque vous éliminez l'appareil ou ses accessoires, vous devez vous conformer aux dispositions légales applicables en la matière dans votre zone géographique ou dans votre pays ainsi qu'au règlement de l'hôpital en question.

Généralités

Impression rapide, silencieuse, de haute qualité

- Tête thermique pour papier mince équipée d'un circuit intégré très rapide, capable de produire des images haute résolution à 12,8 points/mm.
- Vitesses d'impression d'1 image environ de haute qualité (1280 × 1280 ppp) toutes les 5,1 secondes.
- Mémoire images standard capable de traiter et d'imprimer des images en 4096 × 1280 points (320 × 100 mm environ).
- Impression monochrome : jusqu'à 256 niveaux de gris.
- Circuits de correction de température intégrés permettant d'éviter les variations de température susceptibles de maculer les impressions.

Interfaces USB et parallèle

Equipée de deux interfaces, l'une USB et l'autre parallèle standard bidirectionnelle IEEE 1284, l'imprimante peut être connectée à diverses plates-formes.

Ajustement de l'image imprimée à la taille du papier

Les images dont la taille est inférieure aux dimensions du papier peuvent être agrandies automatiquement et ajustées au format du papier.

Possibilité de redéfinir les marges

Vous pouvez réduire les marges afin d'augmenter le nombre d'images imprimables sur un même rouleau de papier.

Signal sonore en cas d'erreur

Pour éviter les incidents, un signal sonore est émis lorsque vous commettez une erreur.

Facilité de chargement du papier

L'accès au magasin est aisé ce qui facilite le chargement du papier dans l'imprimante.

Table des matières

Prise en main

Nom et description des composants 4
Connexions 5
Connexion au port USB 5
Connexion au port parallèle 5
Installation du pilote d'imprimante 6
Configuration des commutateurs DIP 6
Papier imprimante 8
Papiers imprimante admis 8
Chargement du papier dans l'imprimante 9
Chargement du papier 9
Impression 10
Avant de lancer un travail d'impression 10
Lancement d'un travail d'impression 10
Annulation d'un travail d'impression 10
Alimentation du papier 10

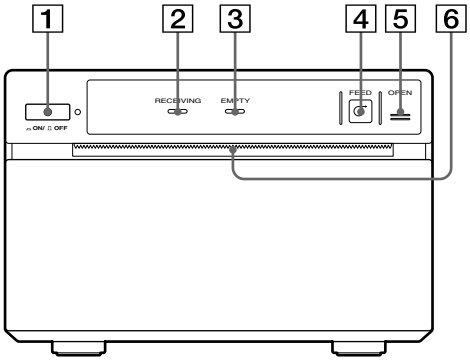
Autres

Précautions 11
Sécurité 11
Utilisation 11
Transport de l'imprimante 11
Installation 11
Maintenance 12
Nettoyage du boîtier 12
Nettoyage de la tête thermique 12
Spécifications 13
Imprimante 13
Interface 14
Spécifications médicales 14
Résolution des incidents 15

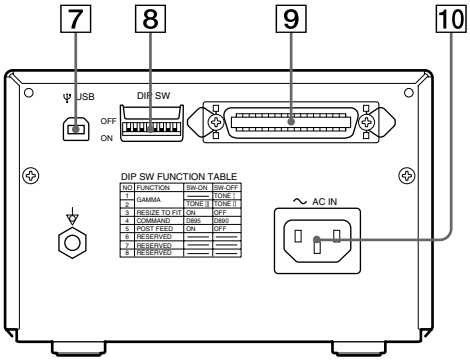
Nom et description des composants

Pour plus de détails, reportez-vous aux numéros de page indiqués entre parenthèses ( ).

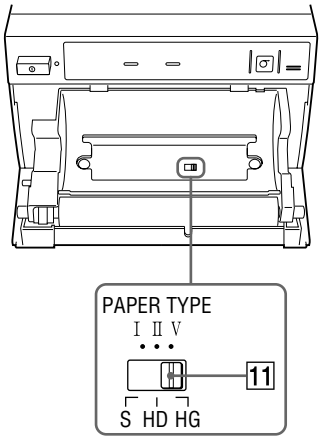
Avant



Arrière



Commutateur à l'intérieur du magasin papier



1 Interrupteur ON/OFF, voyant d'alimentation (9, 10, 12)
Appuyer sur l'interrupteur ON pour mettre l'imprimante sous tension et allumer le voyant d'alimentation.

2 Voyant RECEIVING
S'allume lorsque l'imprimante reçoit des données d'impression de l'ordinateur.

3 Voyant EMPTY (10)
S'allume lorsque le magasin papier est vide. Il clignote lorsque les circuits de contrôle de la température chauffent la tête thermique.

4 Touche FEED (10, 12)
Permet d'alimenter le papier lorsque vous la maintenez enfoncée. En cours d'impression, cette touche permet d'annuler le travail.

5 Touche OPEN (9, 10, 12)
Permet d'ouvrir le magasin. En cours d'impression, cette touche permet d'annuler le travail.

6 Massicot
Coupe le papier après l'impression d'une image.

7 Port USB (5)
Permet de relier l'imprimante à un ordinateur ou tout autre périphérique USB au moyen d'un câble USB.

8 DIP SW (6~7)
Permet de sélectionner le mode image.

9 Port parallèle (connecteur Amphenol à 36 broches) (5)
Permet de relier l'imprimante à un ordinateur ou tout autre périphérique parallèle au moyen d'un câble d'interface Centronics standard.
Pour le mode ECP, un câble IEEE STD 1284 standard est requis.

10 Connecteur AC IN
Permet de brancher le cordon d'alimentation AC fourni avec l'imprimante.

11 Commutateur PAPER TYPE
Sélectionne le papier chargé dans l'imprimante. Sélectionne le type de papier en fonction de celui utilisé.

Type de papier	Position du commutateur
UPP-110S	I (Normal)
UPP-110HD	II (Haute densité)
UPP-110HG	V (Glacé)

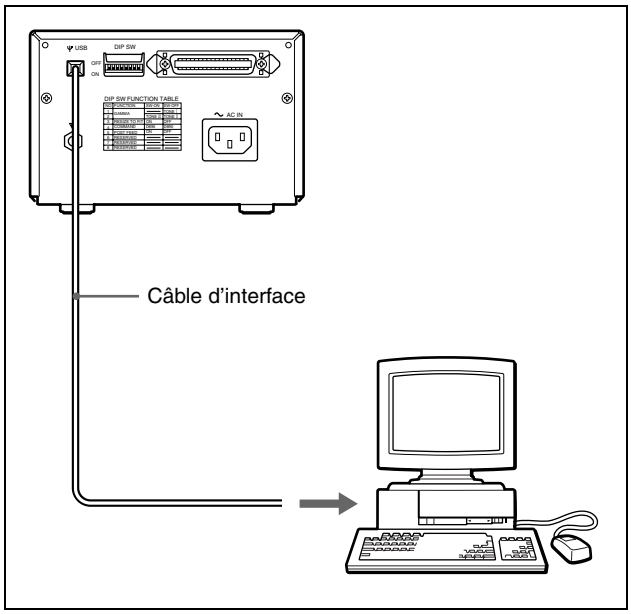
Connexions

Après avoir raccordé le câble d'interface entre l'ordinateur et l'imprimante, branchez le cordon d'alimentation. Le câble d'interface varie en fonction de l'ordinateur utilisé. Pour plus de détails sur la connexion de l'imprimante, reportez-vous à la documentation fournie avec l'ordinateur ou d'autres périphériques.

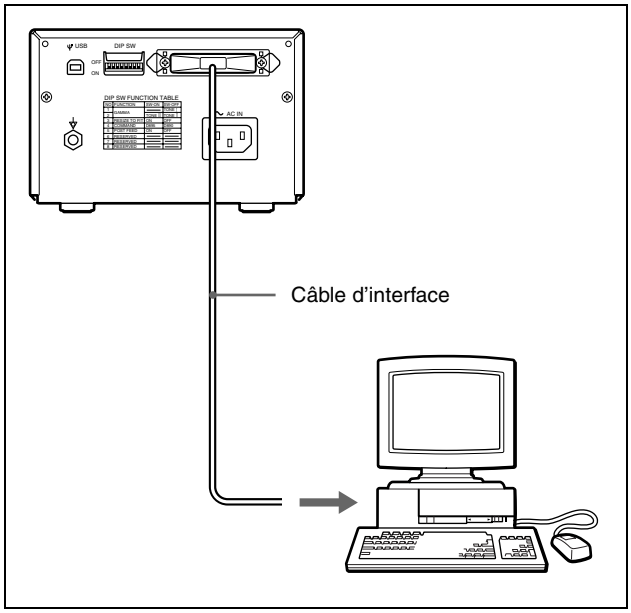
Remarques

- Avant de raccorder l'imprimante à l'ordinateur, mettez hors tension l'imprimante, l'ordinateur, l'écran et tous les périphériques connectés à l'ordinateur.
- Avant de raccorder l'imprimante à l'ordinateur, débranchez le cordon d'alimentation de l'imprimante. Vous ne devez brancher ce dernier qu'après avoir connecté l'imprimante à l'ordinateur.
- Pour connecter l'imprimante à l'ordinateur, utilisez le câble d'interface approprié aux ports USB ou parallèle Centronics de l'imprimante.
- Suivez les procédures de connexion indiquées dans la documentation qui accompagne l'ordinateur.
- Il est recommandé d'utiliser un câble d'interface d'une longueur inférieure à 2 mètres (environ 6 1/2 pi.), dont les connecteurs sont dotés de protections à tore de ferrite.
- Vérifiez que le câble d'interface est correctement connecté aux deux extrémités.
- Le pilote d'imprimante fourni avec l'imprimante ne convient pas à une utilisation de l'imprimante en réseau.
- Le fonctionnement de l'imprimante n'est pas garanti lorsque celle-ci est connectée à un concentrateur USB.
- **Si des câbles imprimante USB et parallèle sont connectés en même temps, seule la connexion USB est effective. La connexion parallèle est inopérante.**

Connexion au port USB



Connexion au port parallèle



Remarque

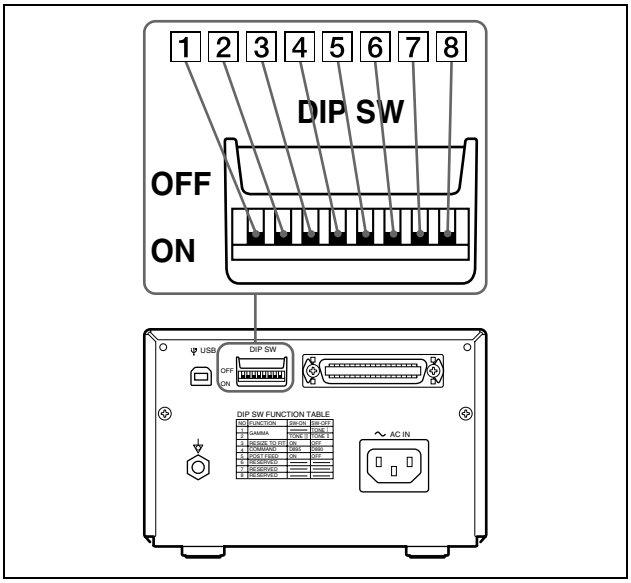
L'utilisation de l'imprimante en mode ECP nécessite un câble d'interface IEEE STD 1284. En outre, l'ordinateur doit être configuré pour utiliser le port parallèle local. Pour plus de détails, reportez-vous à la documentation qui accompagne votre ordinateur.

Installation du pilote d'imprimante

Vous devez installer le pilote d'imprimante fourni avec l'imprimante. Pour connaître la procédure à suivre, reportez-vous au fichier Readme.txt qui se trouve sur le disque d'installation du pilote.

Configuration des commutateurs DIP

Vous devez configurer les commutateurs DIP en fonction de votre utilisation de l'imprimante. Pour modifier la position des commutateurs DIP, commencez par **mettre l'imprimante hors tension**, puis déplacez les commutateurs à l'aide d'un petit tournevis à pointe fine.
La configuration par défaut (usine) est illustrée ci-dessous.



DIP SW FUNCTION TABLE

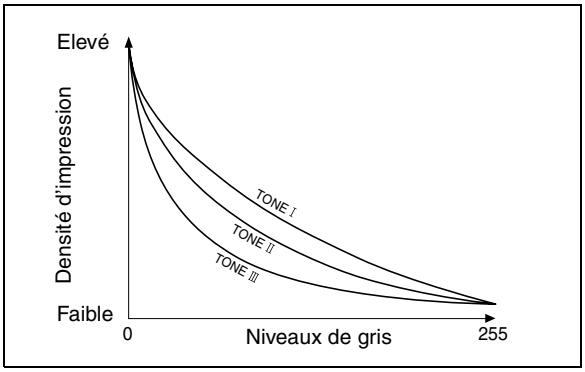
No.	Function	ON	OFF
1	GAMMA	———	TONE I
2		TONE III	TONE II
3	RESIZE TO FIT	ON	OFF
4	COMMAND	D895	D890
5	POST FEED	ON	OFF
6	RESERVED	———	———
7	RESERVED	———	———
8	RESERVED	———	———

1 2 Commutateur GAMMA

Passe d'une intensité à une autre. **Cette configuration est uniquement possible lorsque 4 COMMAND est en position OFF D890.**

Mode d'impression	Position du commutateur GAMMA	
	1	2
TONE I	OFF (TONE 1)	Activé dans les deux positions
TONE II	ON (-)	OFF (TONE II)
TONE III	ON (-)	ON (TONE III)

Lorsque le commutateur GAMMA a la valeur TONE I, le commutateur GAMMA 2 peut se trouver dans l'une ou l'autre position. Il est néanmoins recommandé de maintenir le commutateur en position ON (configuration usine). Le diagramme ci-dessous montre la courbe de chaque valeur d'intensité.



3 Commutateur RESIZE TO FIT

Cette fonction est activée lorsque 4 COMMAND a la valeur D890.

ON : L'image imprimée est agrandie de 25 % environ pour atteindre un format équivalent à celui utilisé sur l'UP-D890.

OFF : L'image imprimée n'est pas agrandie. Comparé à une impression obtenue sur l'UP-D890, l'image imprimée est 25 % environ plus petite (En effet, sur l'UP-D895 la densité des pixels est de 25 % supérieure environ à celle rendue sur l'UP-D890).

4 Commutateur COMMAND

Ce commutateur doit être en position OFF lorsque vous utilisez l'UP-D895 avec des applications logicielles conçues pour l'UP-D890.

5 Commutateur POSTFEED

Sélectionne la méthode d'alimentation du papier après l'impression.

ON : Alimente du papier blanc entre les impressions.

OFF : Alimente moins de papier entre les impressions par souci d'économie, ou lors de l'impression de plusieurs images sur la même feuille. Vous pouvez imprimer plusieurs images sur une même feuille. Toutefois, en raison de l'espace réduit qui existe entre chaque image, vous devez appuyer sur la touche FEED avant de couper le papier.

6 7 8 Commutateur RESERVED

En règle générale, il convient de laisser ces commutateurs sur la position ON (configuration usine).

Papier imprimante

Il est recommandé d'utiliser uniquement du papier Sony UPP-110S/110HD/110HG conçu pour cette imprimante. La qualité d'impression ne peut être garantie si vous utilisez d'autres papiers. En outre, ces derniers peuvent endommager l'imprimante.
Le papier imprimante conçu pour l'UP-D890 ne peut pas être utilisé avec l'UPP-110HA.

Papiers imprimante admis

Les caractéristiques des papiers imprimante sont les suivantes.

Caractéristiques d'impression	Type de papier
TYPE I (Normal)	UPP-110S
TYPE II (Haute densité)	UPP-110HD
TYPE V (Glacé)	UPP-110HG

Stockage et manipulation du papier

- Le papier inutilisé doit être stocké dans un endroit sec, d'une température inférieure à 30 °C (86 °F), à l'abri de la lumière directe du soleil.
- Le papier inutilisé doit être tenu éloigné de liquides volatils et ne doit pas entrer en contact avec un liquide volatil organique, un ruban adhésif en bobine ou un composant de chlorure de vinyle.
- Manipulez le papier avec précaution lorsque vous le chargez dans l'imprimante en veillant à ne pas toucher la surface d'impression avec les doigts. Les traces de transpiration ou de graisse provenant de vos doigts risquent de maculer les impressions.
- Après avoir retiré l'étiquette du bord d'attaque du papier, tirez le papier de 15 à 20 cm (environ 6~8 po.) environ avant de lancer l'impression. En effet, la substance adhésive de l'étiquette risquerait d'altérer l'image.
- Pour éviter l'atténuation ou l'altération des niveaux de gris des images imprimées, stockez ces dernières dans un endroit sec et frais, où la température ne dépasse pas 30 °C (86 °F).
- Stockez les images imprimées dans une pochette en polypropylène ou entre des feuilles de papier dépourvues de substance plastique.
- Conservez les images imprimées à l'abri d'une humidité excessive et de la lumière directe du soleil.
- Les images imprimées doivent être tenues éloignées de liquides volatils et ne doivent pas entrer en contact avec un liquide volatil organique, un ruban adhésif en bobine ou un composant de chlorure de vinyle.
- Pour éviter l'atténuation des couleurs, empilez les impressions sur ou sous une feuille diazo.
- Pour coller les impressions sur une autre feuille de papier, utilisez du ruban adhésif double face ou un ruban adhésif à base d'eau.
- Ne brûlez pas le papier imprimante à jeter.

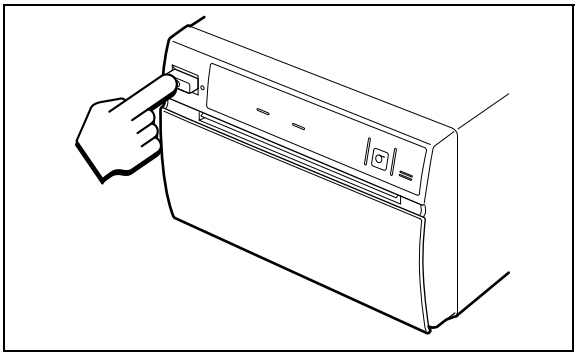
Chargement du papier dans l'imprimante

Remarques

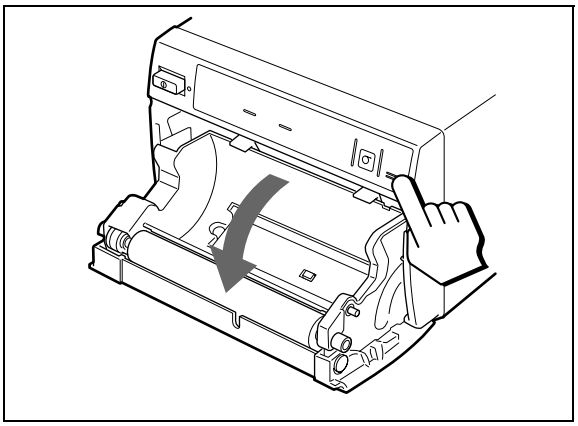
- Avant de procéder au chargement du papier dans l'imprimante, reportez-vous à la section "Stockage et manipulation du papier" (page 8).
- Veillez à toujours manipuler le papier imprimante avec précaution lors de son chargement afin d'éviter toute altération de la qualité des images imprimées. Veillez à ne jamais plier ni froisser le papier ou encore à toucher la surface d'impression avec les doigts. En effet, les traces de transpiration provenant des doigts peuvent maculer l'impression.
- Veuillez uniquement utiliser du papier UPP-110S/110HD/110HG. (page 8)
- Vérifiez que la configuration du commutateur PAPER TYPE est appropriée au type de papier chargé dans l'imprimante. (page 4)

Chargement du papier

1 Mettez l'imprimante sous tension en appuyant sur ON/OFF. Le voyant d'alimentation s'allume.



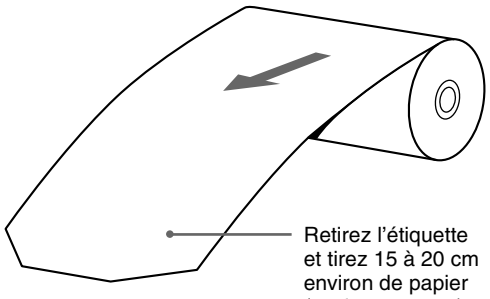
2 Ouvrez le magasin en appuyant sur la touche OPEN.

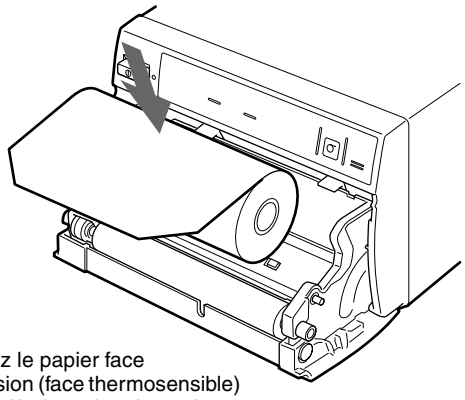


3 Retirez l'étiquette du bord d'attaque du papier imprimante, tirez 15 à 20 cm (environ 6~8 po.) environ de papier, puis placez le rouleau de papier dans le magasin.

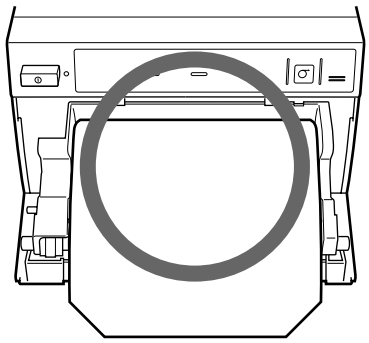
Remarque

Pour éviter d'exposer le papier imprimante à la poussière, la saleté, etc., veillez à toujours le manipuler avec précaution lorsque vous le déballez puis le chargez dans l'imprimante. Le papier sale ou poussiéreux ne peut être utilisé pour l'impression.



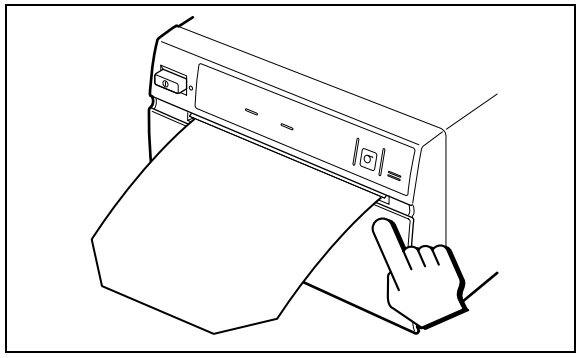


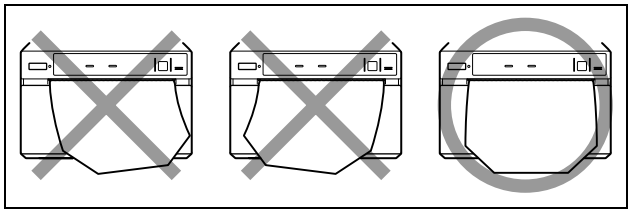
Chargez le papier face impression (face thermosensible) dessus. L'orientation du papier doit être correcte pour pouvoir imprimer.



Vérifiez que le papier est droit.

4 Refermez le magasin et appuyez sur son capot jusqu'à ce qu'il s'enclenche.





Remarques

- Vérifiez que le papier est correctement chargé et droit. Un papier en biais est susceptible d'entraîner un bourrage.
- Si vous n'avez pas fait avancer suffisamment de papier à l'étape 3, **sans tirer sur le papier** appuyez sur la touche FEED du panneau de commande pour extraire davantage de papier de l'imprimante.

Impression

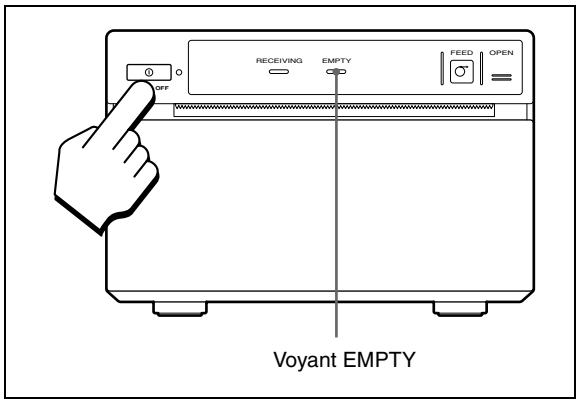
Avant de lancer un travail d'impression

Veillez à toujours vérifier les points suivants :

- L'imprimante est-elle connectée correctement ? (page 5)
- Les commutateurs DIP sont-ils configurés correctement ? (page 6)
- Le pilote d'imprimante est-il installé ? (page 6)
- Le papier est-il chargé correctement ? (page 9)

Lancement d'un travail d'impression

1 Mettez l'imprimante sous tension en appuyant sur ON/OFF. Le voyant d'alimentation s'allume.



2 Vérifiez que le voyant EMPTY est éteint. S'il est allumé, chargez du papier.

3 Lancez le travail d'impression à partir de l'application logicielle.

Annulation d'un travail d'impression

Pour annuler un travail d'impression en cours, appuyez sur la touche OPEN ou FEED.

Alimentation du papier

Pour alimenter le papier, appuyez sur la touche FEED. L'imprimante continue à faire avancer le papier tant que vous maintenez la touche FEED enfoncée. **Veillez à ne pas tirer le papier de l'imprimante manuellement.**

Précautions

Sécurité

- Vérifiez la tension secteur avant toute utilisation. Faites uniquement fonctionner l'appareil avec l'une des sources d'alimentation spécifiées dans les "Spécifications".
- Interrompez immédiatement le fonctionnement de l'imprimante si un liquide ou un solide tombe à l'intérieur du châssis. Débranchez l'appareil et faites-le vérifier par le personnel qualifié.
- Débranchez l'appareil de la prise murale si vous prévoyez de ne pas l'utiliser pendant une période prolongée. Débranchez le câble d'alimentation en le saisissant par la fiche. Ne tirez jamais sur le câble proprement dit.
- Ne démontez pas le châssis. Confiez-en exclusivement l'entretien au personnel qualifié.
- Ne touchez pas la lame du coupe-papier de l'imprimante.
- Branchez la fiche du câble d'alimentation sur une prise murale mise à la terre. L'imprimante doit être correctement reliée à la terre.

Utilisation

Ne mettez pas l'imprimante hors tension pendant un cycle d'impression. Vous risqueriez d'endommager la tête thermique.

Transport de l'imprimante

Ne transportez et ne déplacez pas l'imprimante quand le rouleau de papier est installé à l'intérieur. Cela risquerait de provoquer un dysfonctionnement.

Installation

- Installez l'imprimante sur une surface plane et stable. Si vous utilisez l'imprimante placée sur une surface inégale, l'imprimante risque de présenter une défaillance.
- N'installez pas l'imprimante à proximité d'une source de chaleur comme un radiateur, une conduite d'air chaud et ne la soumettez pas au rayonnement direct du soleil, à de la poussière ou à une humidité excessive, à des chocs mécaniques ou à des vibrations.
- Veillez à assurer une circulation de l'air adéquate pour éviter toute surchauffe. Ne placez pas l'imprimante sur des surfaces telles que des tapis, etc., ou à proximité de rideaux et de draperies.
- Si l'imprimante est soumise à des variations brusques et importantes de température, par exemple lorsqu'elle est transportée d'un local froid dans un local chaud ou lorsqu'elle reste dans un local avec un chauffage ayant tendance à produire une forte humidité, de la condensation risque de se former à l'intérieur de l'imprimante. En pareil cas, l'imprimante ne fonctionnera probablement pas correctement et risque de présenter une défaillance si vous persistez à vouloir l'utiliser. Si de l'humidité ou de la condensation se forme, mettez l'imprimante hors tension et laissez-la reposer pendant au moins une heure.

Maintenance

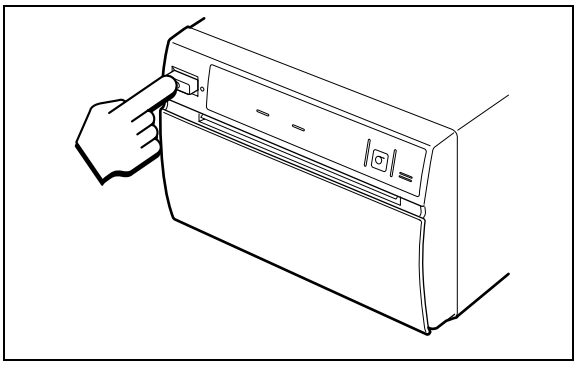
Nettoyage du boîtier

Pour nettoyer la surface de l'imprimante, utilisez un chiffon humide ou un chiffon imbibé d'eau et d'un détergent doux.
Pour nettoyer le boîtier de l'imprimante en évitant de l'endommager, veillez à ne jamais utiliser d'alcool ni diluant ni tout solvant organique ou produit abrasif.

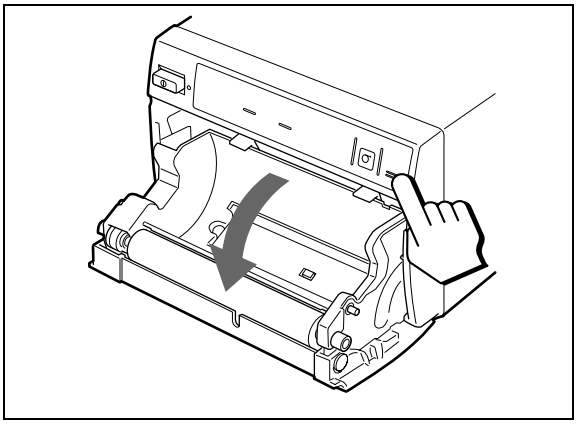
Nettoyage de la tête thermique

Si une impression est sale ou si elle contient des bandes blanches, nettoyez la tête thermique à l'aide de la feuille de nettoyage (fournie avec l'imprimante).

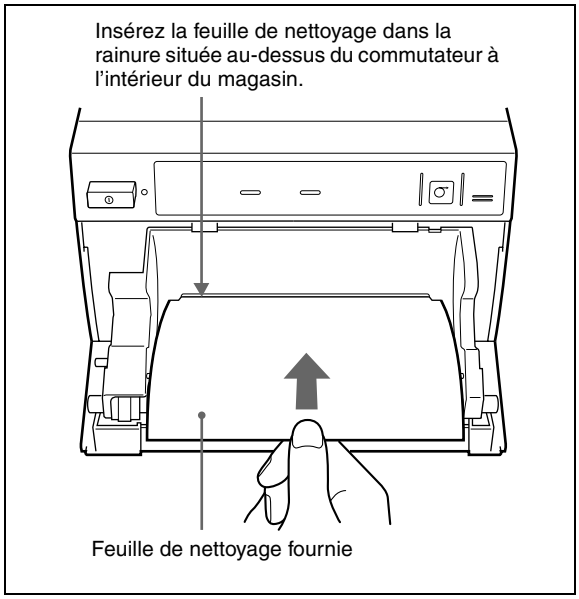
1 Mettez l'imprimante sous tension en appuyant sur ON/OFF.



2 Ouvrez le magasin en appuyant sur la touche OPEN.

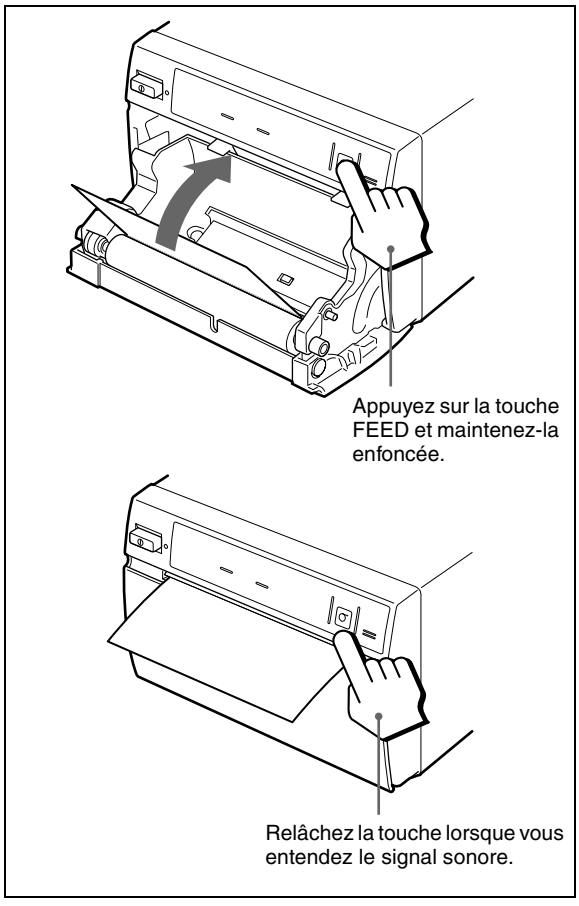


3 En orientant la face noire vers le bas, insérez la feuille de nettoyage dans la rainure située au-dessus du commutateur à l'intérieur du magasin.


Insérez la feuille de nettoyage dans la rainure située au-dessus du commutateur à l'intérieur du magasin.
Feuille de nettoyage fournie

4 Refermez le magasin et appuyez sur son capot jusqu'à ce qu'il s'enclenche.

5 Maintenez la touche FEED enfoncée jusqu'au début de l'éjection de la feuille de nettoyage. Au signal sonore, relâchez la touche FEED.



6 Ouvrez le magasin en appuyant sur la touche OPEN, puis retirez la feuille de nettoyage.

7 Refermez le magasin.

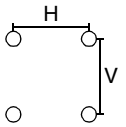
Remarque

Vous ne devez nettoyer la tête thermique avec la feuille de nettoyage que lorsque cela est nécessaire. En effet, un nettoyage trop fréquent de la tête thermique risque d'endommager cette dernière.

Spécifications

Imprimante

Tête thermique Tête thermique pour papier mince, 1280 points
Niveaux de gris 256 niveaux de gris (8 bits)
Capacité mémoire
4096 × 1280 × 8 (bits)
Taille de l'image
320 × 100 mm (max.)
Vitesse d'impression
Environ 5,1 sec./image (1280 × 1280 points)
Pixels 4096 × 1280 points (max.)
Densité en points
H: 100 mm/1280 points = 0,078
V: 100 mm/1280 points = 0,078
Points carrés



Alimentation électrique
100 à 120V CA, 50/60 Hz, 1,5 A
220 à 240V CA, 50/60 Hz, 0,8 A
Températures En fonctionnement
5 °C à 35 °C (41 °F à 176 °F)
Stockage/Transport
–20 °C à 60 °C (–4 °F à 140 °F)
Humidité En fonctionnement
20 % à 80 %
Stockage/ Transport
20 % à 90 %
Dimensions 154 × 105 × 260 mm (w × h × d)
6,1 × 4,1 × 10,2 pouces (w × h × d)
Poids 3,4 kg (1,54 lb.) (imprimante uniquement)
Accessoires et consommables fournis
Papier imprimante UPP-110HG × 1 rouleau
Cordon d'alimentation × 1
Feuille de nettoyage de la tête thermique × 1
Pilote d'imprimante × 1
Instructions d'utilisation × 1
Liste des services de maintenance × 1
Licence logicielle × 1
Etiquette de support × 1

Interface

Interface parallèle

Connecteur de contrôle
Connecteur IEEE1284-B (D-sub à 36 broches)
Entrée : 5V (TTL) (max.)
Sortie : 5V (TTL) (max.)
Transmission des données
Connecteur standard 8 bits, parallèle, IEEE STD 1284-1994
Modes Compatible, Reverse nibble, ECP
Niveau logique TTL

Affectation des broches du connecteur de l'interface parallèle

Broche	E-S	Signal		
		Mode d'interface		
		Compatible	Nibble	ECP
1	E	nStrobe	HostClk	HostClk
2	E-S	Data1 (LSB)		
3	E-S	Data2		
4	E-S	Data3		
5	E-S	Data4		
6	E-S	Data5		
7	E-S	Data6		
8	E-S	Data7		
9	E-S	Data8 (MSB)		
10	S	nACK	PtrClk	PeriphClk
11	S	Busy	PtrBusy	PeriphAck
12	S	Perror	AckDataReq	nAckReverse
13	S	Select	Xflag	Xflag
14	E	nAutoFd	HostBusy	HostAck
15		Non défini		
16-17		GND		
18	S	Peripheral Logic High (charge de +5V à 1 kΩ)		
19-30		GND		
31	E	nInit	nInit	nReverseRequest
32	S	nFault	nDataAvail	nPeriphRequest
33		Non défini		
34		Non défini		
35		Non défini		
36	E	nSelectIn	IEEE 1284 Actif	IEEE 1284 Actif

UP-D895 est compatible avec les modes Compatible, Reverse Nibble et ECP avec l'interface parallèle bidirectionnelle (IEEE STD 1284-1994).

Interface USB

Transmission des données
Universal Serial Bus Specification Rev. 1.0 Standard

Affectation des broches du connecteur d'interface USB

Broche	E-S	Signal	Fonction
		VCC	Puissance du câble, Courant max. 100mA
	E-S	–Data	Data
	E-S	+Data	Données, charge de +3,3V à une impédance de 1,5 kΩ
		Ground	Masse du câble

La conception et les spécifications de l'imprimante sont susceptibles d'être modifiées sans préavis.

Spécifications médicales

Protection contre les chocs électriques :
Classe I
Protection contre la pénétration néfaste d'eau :
Ordinaire
Degré de sécurité en présence d'anesthésiants inflammables ou d'oxygène :
Ne convient pas à une utilisation en présence d'anesthésiants inflammables ou d'oxygène
Mode de fonctionnement :
Continu

Résolution des incidents

Avant d'appeler un technicien de maintenance, consultez le tableau ci-dessous. Si vous ne parvenez pas à résoudre l'incident, contactez votre revendeur agréé SONY le plus proche.

Incident	Solution
Des petits points apparaissent sur les premières impressions.	Venez-vous juste d'installer un nouveau rouleau de papier ? →Si vous venez d'installer un nouveau rouleau de papier, il se peut que la poussière de papier soit à l'origine de ces quelques points sur les images imprimées. Appuyez sur la touche FEED et maintenez-la enfoncée afin de faire avancer 15 à 20 cm (environ 6~8 po.) environ de papier, puis relâchez la touche.
Le travail d'impression ne démarre pas.	• Le papier n'avance pas. →L'imprimante est-elle sous tension ? →L'imprimante est-elle connectée correctement ? →Y a-t-il du papier dans l'imprimante ? • Signaux sonores. →La tête thermique a-t-elle surchauffé ? Un travail d'impression de haute densité, (qui content des aplats noirs) peut provoquer la surchauffe de la tête thermique. Dans ce cas, le voyant EMPTY clignote. Annulez le travail d'impression et attendez que l'imprimante refroidisse. →Le papier est-il chargé correctement ? • Le papier avance mais l'impression ne démarre pas. →L'orientation du papier dans le magasin est-il correct ? (page 9)
La transmission des données est toujours aussi lente même après avoir configuré le port parallèle en mode ECP.	• L'ordinateur prend-il en charge le mode ECP ? →Bien que le pilote d'imprimante permette de configurer le mode ECP, tous les ordinateurs ne le prenne pas en charge. Pour plus de détails, adressez-vous au fournisseur ou au constructeur de votre ordinateur.
Bourrages papier	• Le bourrage est-il visible ? →OPEN le magasin en appuyant sur la touche, puis tirez délicatement le papier coincé. • Existe-t-il des traces de condensation dans l'imprimante ? →Si l'imprimante vient d'être déplacée d'un endroit frais vers une pièce chaude, il se peut que de la condensation se soit formée à l'intérieur de l'imprimante. Mettez l'imprimante hors tension et laissez la reposer pendant au moins une heure (pour qu'elle se réchauffe à la température ambiante), puis essayez d'imprimer de nouveau.
Les impressions sont sales.	La tête thermique est-elle sale ? →Nettoyez la tête thermique à l'aide de la feuille de nettoyage fournie à cet effet. (page 12)
L'imprimante s'arrête lors de l'impression d'images qui contiennent des aplats noirs.	Au-delà de 15 impressions d'images qui contiennent des aplats noirs, il arrive que le circuit de protection de la tête thermique arrête l'imprimante pour éviter la surchauffe de la tête thermique →Arrêtez l'impression et attendez que la tête thermique refroidisse.

VORSICHT

Um Feuergefahr und die Gefahr eines elektrischen Schlags zu vermeiden, darf das Gerät weder Regen noch Feuchtigkeit ausgesetzt werden.

Um einen elektrischen Schlag zu vermeiden, darf das Gehäuse nicht geöffnet werden. Überlassen Sie Wartungsarbeiten stets nur qualifiziertem Fachpersonal.

DIESES GERÄT MUSS GEERDET WERDEN.

Symbol

Dieses Symbol kennzeichnet den Anschluss für Potenzialausgleichsleiter. Sinn des Potenzialausgleichsleiters ist das Herstellen einer potenzialgleichen Umgebung für den Patienten.

Dieses Symbol weist den Benutzer auf das Vorhandensein wichtiger Informationen zur Bedienung und Wartung (Service) in den bei diesem Gerät mitgelieferten Dokumenten hin.

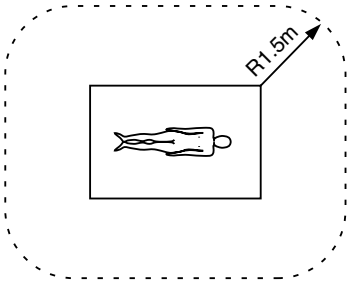
Für Kunden in Deutschland

Dieses Produkt kann im kommerziellen und in begrenztem Maße auch im industriellen Bereich eingesetzt werden. Dies ist eine Einrichtung, welche die Funk-Entstörung nach Klasse B besitzt.

Wichtige Sicherheitshinweise für den Gebrauch in medizinischen Umgebungen

1 Alle Geräte, die an diese Einheit angeschlossen sind, müssen den Standards IEC 60601-1, IEC 60950 und IEC 60065 oder anderen IEC-/ISO-Standards, die für die Geräte gelten, entsprechen.

2 Wenn diese Einheit zusammen mit anderen Geräten in der Patientenumgebung* verwendet wird, müssen die Geräte entweder mit einem Isolationstransformator betrieben oder über einen zusätzlichen Schutzleitungsanschluss mit der Gehäusemasse verbunden werden, es sei denn, sie entsprechen dem Standard IEC 60601-1.
* Patientenumgebung



3 Der Ableitstrom kann sich beim Zusammenschluss mehrerer Geräte summieren und höhere Werte annehmen.

4 Dieses Gerät erzeugt und verwendet Hochfrequenzenergie und kann diese auch abstrahlen. Wenn das Gerät nicht entsprechend den Anweisungen in dieser Anleitung installiert und verwendet wird, kann es Interferenzen mit anderen Geräten hervorrufen. Dies können Sie leicht feststellen, indem Sie das Netzkabel vom Gerät lösen. Versuchen Sie bei Interferenzen Folgendes: Stellen Sie das Gerät weiter entfernt vom gestörten Gerät auf. Schließen Sie dieses Gerät und das andere Gerät an verschiedene Stromkreise an. Wenden Sie sich für weitere Informationen an Ihren Händler. (Entspricht Standard EN60601-1-2 und CISPR11, Klasse B, Gruppe 1)

Vorsicht

Beachten Sie bei der Entsorgung des Geräts bzw. des Zubehörs die gesetzlichen Vorschriften des jeweiligen Landes oder der Region und die Vorschriften im betreffenden Krankenhaus.

Vorsicht beim Netzanschluss

Den örtlichen Bestimmungen entsprechendes Kabel für den Netzanschluss verwenden.

Übersicht

Ruhiges und schnelles Drucken mit hoher Qualität

- Hochauflösende Bilder mit 12,8 Punkten/mm dank eines schmalen Thermodruckkopfs mit eingebauter Hochgeschwindigkeitsansteuerung-IC.
- Druckgeschwindigkeit für ein hochauflösendes Bild (1280 × 1280 dpi): 5,1 Sek.
- Standardbildspeicher kann Bilder von bis zu 4096 × 1280 Punkten (etwa 320 × 100 mm) verarbeiten und drucken.
- Einfarbiger Ausdruck mit 256 Graustufen.
- Eingebauter temperaturkorrigierender Schaltkreis verhindert Temperaturänderungen, die einen unscharfen Ausdruck zur Folge haben könnten.

USB- und Parallelanschlüsse

Der Drucker verfügt sowohl über einen USB- als auch über einen IEEE 1284-Standardparallelanschluss, wodurch der Drucker für eine Vielzahl von PCs verwendet werden kann.

Gedrucktes Bild an Papiergröße anpassen

Für Bilder, die kleine sind als das Papier, kann eine automatische Anpassung an die Papiergröße durchgeführt werden.

Einstellungen für die Ränder möglich

Es können schmalere Ränder eingestellt werden, um mehrere Bilder mit einer Papierrolle drucken zu können.

Fehleralarm

Bei einem Fehler ertönt ein Alarmsignal.

Einfaches Einlegen von Papier

Ein freier Zugang zum Deckel gewährleistet ein einfaches Einlegen von Papier.

Inhalt

Vorbereitungen

Name und Funktionen der Teile und Bedienelemente 4
Anschlüsse 5
USB-Anschluss 5
Paralleler Anschluss 5
Installieren des Druckertreibers 6
Einstellen der DIP-Schalter 6
Druckpapier 8
Zu verwendendes Druckpapier 8
Einlegen von Papier in den Drucker 9
Einlegen von Papier 9
Druckvorgang 10
Vor dem Starten eines Druckvorgangs 10
Starten des Druckvorgangs 10
Abbrechen eines Druckvorgangs 10
Einziehen von Papier 10

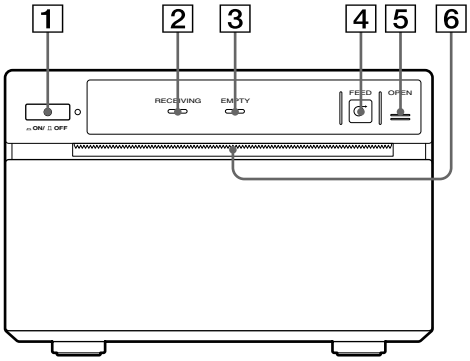
Sonstiges

Sicherheitsmaßnahmen 11
Sicherheit 11
Betrieb 11
Transport 11
Aufstellung 11
Wartung 12
Reinigen des Gehäuses 12
Reinigen des Thermodruckkopfes 12
Technische Daten 13
Drucker 13
Schnittstelle 14
Medizinische Daten 14
Störungsbehebung 15

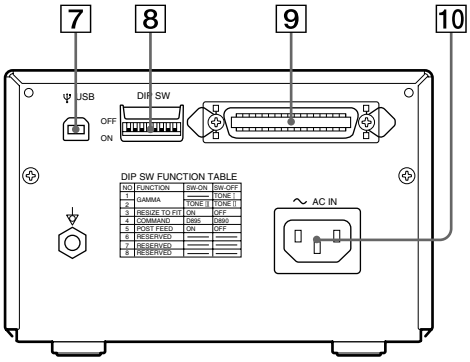
Name und Funktionen der Teile und Bedienelemente

Schlagen Sie für detaillierte Informationen auf den in Klammern ( ) angegebenen Seiten nach.

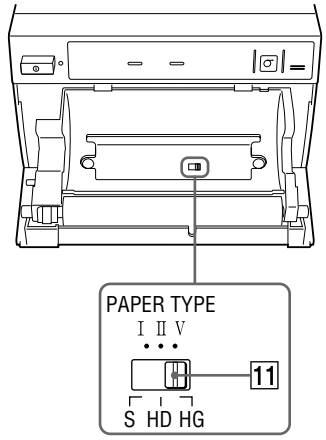
Vorderseite



Rückseite



Schiebeschalter im Papierfach



1 Netzschalter ON/OFF, Netzanzeige Power (9, 10, 12)
Schalten Sie den Drucker mit dem Netzschalter ON ein. Die Netzanzeige leuchtet.

2 Anzeige RECEIVING
Leuchtet, während am Drucker die zu druckenden Daten von einem Computer eingehen.

3 Anzeige EMPTY (10)
Leuchtet, wenn kein Papier mehr im Drucker eingelegt ist. Blinkt, während die temperaturkorrigierenden Schaltkreise den Thermodruckkopf aufheizen.

4 Taste FEED (10, 12)
Halten Sie die Taste gedrückt, um Papier einzuziehen. Drücken Sie diese Taste, um einen Druckvorgang zu stoppen.

5 Taste OPEN (9, 10, 12)
Zum Öffnen des Deckels. Drücken Sie diese Taste, um einen Druckvorgang zu stoppen.

6 Schneidevorrichtung
Schneidet das Druckpapier nach dem Drucken eines Bildes ab.

7 USB-Anschluss (5)
Zum Anschluss an einen Computer oder ein anderes Peripheriegerät mit USB-Anschluss mit Hilfe eines USB-Kabels.

8 DIP SW (6~7)
Zur Auswahl des Druckmodus.

9 Paralleler Anschluss (Amphenol, 36 polig) (5)
Zum Anschließen eines Computers oder anderer Peripheriegeräte mit paralleler Schnittstelle mit einem Centronics-kompatiblen Schnittstellenkabel. Für den ECP-Modus wird ein Kabel benötigt, das dem IEEE-Standard 1284 enspricht.

10 Anschluss AC IN
Zum Anschließen des Druckers mit dem mitgelieferten Netzkabel.

11 Schalter PAPER TYPE
Zur Auswahl des zu verwendenden Papiertyps.

Papiertyp	Schalterstellung
UPP-110S	I (Normal)
UPP-110HD	II (Hohe Dichte)
UPP-110HG	V (Hochglanz)

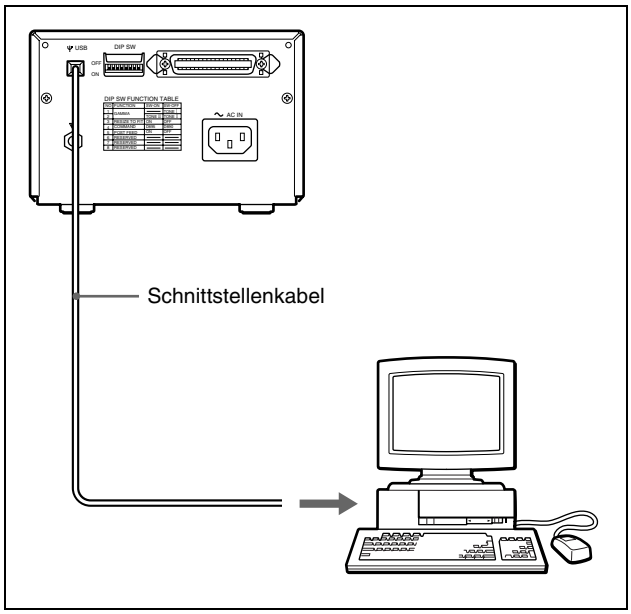
Anschlüsse

Stecken Sie das Netzkabel in den Drucker ein, nachdem Sie Computer und Drucker mit Hilfe des Schnittstellenkabels verbunden haben. Das Schnittstellenkabel ist je nach Computer unterschiedlich. Schlagen Sie für detaillierte Informationen über das Anschließen des Druckers in den Handbüchern zum Computer und zu anderen Peripheriegeräten nach.

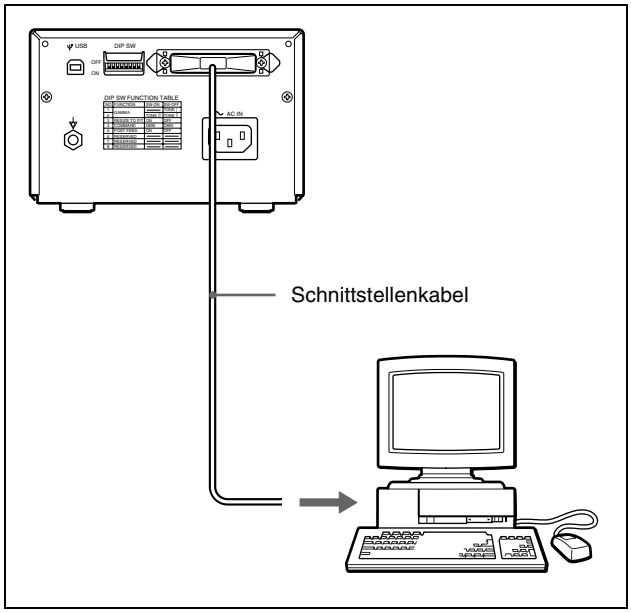
Hinweise

- Schalten Sie vor dem Anschließen den Drucker, Computer, Bildschirm und alle mit dem Computer verbundenen Peripheriegeräte aus.
- Lösen Sie vor dem Anschließen des Druckers an den Computer das Netzkabel vom Drucker. Schließen Sie das Netzkabel an den Drucker erst an, nachdem Sie den Drucker mit dem Computer verbunden haben.
- Verwenden Sie zum Verbinden des Druckers mit dem Computer ein Schnittstellenkabel, das kompatibel mit dem USB- oder dem parallelen Anschluss (Centronics) ist.
- Folgen Sie den Anweisungen zum Anschließen wie sie im Handbuch zum Computer beschrieben sind.
- Es wird ein Schnittstellenkabel empfohlen, das weniger als 2 m (ca. 6,5 fuß) lang ist und an beiden Anschlüssen mit Ferritkernsiegeln geschützt ist.
- Stellen Sie sicher, dass das Kabel an beiden Enden richtig angeschlossen ist.
- Die mit dem Drucker mitgelieferte Druckertreibersoftware ist nicht für den Gebrauch des Druckers in einem Netzwerk geeignet.
- Es wird nicht sichergestellt, dass der Drucker beim Anschluss an einen USB-Netzknoten funktioniert.
- **Beim gleichzeitigen Anschluss beider Kabeltypen wird lediglich der USB-Anschluss verwendet.**

USB-Anschluss



Paralleler Anschluss



Hinweis

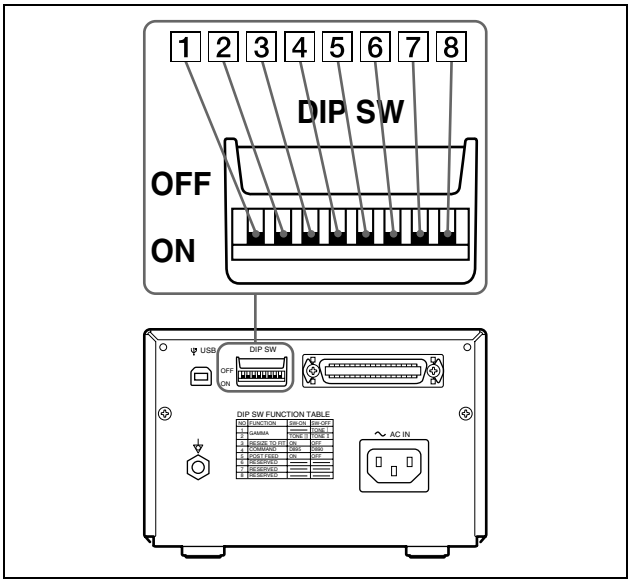
Um mit dem Drucker im ECP-Modus zu arbeiten, muss ein Schnittstellenkabel verwendet werden, das dem IEEE Standard 1284 entspricht. Außerdem muss der lokale parallele Anschluss des Computers ausgewählt werden. Schlagen Sie für detaillierte Informationen im Handbuch zum Computer nach.

Installieren des Druckertreibers

Installieren Sie den im Lieferumfang des Druckers befindlichen Druckertreiber. Lesen Sie für detaillierte Informationen zum Installieren des Druckertreibers die Readme.txt-Datei auf der Installationsdiskette des Druckertreibers.

Einstellen der DIP-Schalter

Stellen Sie die DIP-Schalter je nach erforderlichem Druckmodus ein. Um die Eintsellungen der DIP-Schalter zu ändern, **müssen Sie zuerst den Drucker ausschalten** und mit einem spitzen Schraubendreher die Schalter in die entsprechende Position bringen. Unten sind die werkseitigen Einstellungen angegeben.



DIP SW FUNCTION TABLE

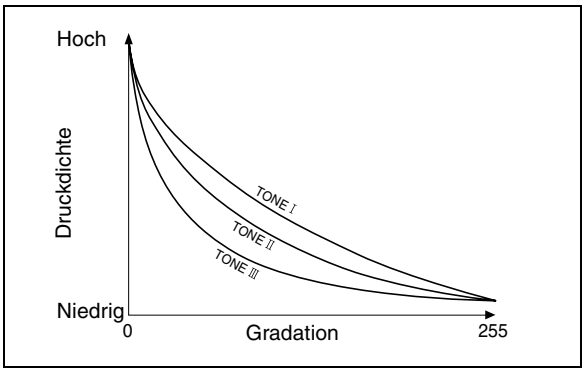
No.	Function	ON	OFF
1	GAMMA	———	TONE I
2		TONE III	TONE II
3	RESIZE TO FIT	ON	OFF
4	COMMAND	D895	D890
5	POST FEED	ON	OFF
6	RESERVED	———	———
7	RESERVED	———	———
8	RESERVED	———	———

1 2 Schalter GAMMA

Ändert den Displaymodus. **Diese Einstellung wird nur aktiviert, nachdem der Schalter 4 COMMAND auf OFF gestellt wurde, um den Drucker D890 auszuwählen.**

Druckmodus	Position des Schalters GAMMA	
	1	2
TONE I	OFF (TONE 1)	Für beide aktiviert
TONE II	ON (-)	OFF (TONE II)
TONE III	ON (-)	ON (TONE III)

Wenn Modus TONE I als Druckmodus für GAMMA ausgewählt wurde, kann der 2 Schalter GAMMA in beide Positionen eingestellt werden, Sie sollten den Schalter aber in der werkseitig eingestellten Position (ON) lassen.
Das Diagramm unten zeigt die Kurven für die verschiedenen Toneinstellungen.



3 RESIZE TO FIT

Diese Einstellung wird aktiviert, wenn 4 COMMAND für den D890 ausgewählt wurde.

ON: Das gedruckte Bild wird um ca. 25% vergrößert. Das Format ist mit dem des UP-D890 identisch.

OFF: Der Ausdruck wird nicht vergrößert. Verglichen mit einem Ausdruck des UP-D890 ist das Bild um etwa 25% kleiner, (da die Bildpunktdichte des UP-D895 um etwa 25% höher ist als die des UP-D890).

4 Schalter COMMAND

Setzen Sie diesen Schalter auf OFF, wenn Sie den UP-D895 mit Anwendungen verwenden, die für den UP-D890 bestimmt sind.

5 Schalter POSTFEED

Zum Festlegen, wie viel Druckpapier nach dem Drucken eingezogen wird.

ON: Nach jedem Druck wird zusätzliches Papier eingezogen.

OFF: Um Papier zu sparen, wird zwischen Drucken weniger Papier eingezogen. Es können mehrere Bilder auf einem Blatt gedruckt werden, aber da sich zwischen den gedruckten Bildern nur ein schmaler Zwischenraum befindet, muss der Schalter FEED gedrückt werden, bevor das Papier abgeschnitten wird.

6 7 8 Schalter RESERVED

Sie sollten den Schalter in der werkseitig eingestellten Position (ON) lassen.

Druckpapier

Verwenden Sie ausschließlich Papier der Serie UPP-110S/110HD/110HG von Sony, das für diesen Drucker bestimmt ist. Bei anderem Papier kann sich die Druckqualtität verschlechtern, und es kann zu Fehlfunktionen des Druckers kommen.
Druckpapier, das für den UP-D890 bestimmt ist, kann nicht für den UPP-110HA benutzt werden.

Zu verwendendes Druckpapier

Das Druckpapier hat die folgenden Eigenschaften:

Druckeigenschaften	Papiertyp
TYPE I (Normal)	UPP-110S
TYPE II (Hohe Dichte)	UPP-110HD
TYPE V (Hochglanz)	UPP-110HG

Aufbewahren und Benutzen von Papier

- Lagern Sie unbenutztes Papier unter 30°C (86°F) und trocken und setzen Sie es nicht direktem Sonnenlicht aus.
- Lagern Sie unbenutztes Papier nicht in der Nähe von flüchtigen Flüssigkeiten und achten Sie darauf, dass kein flüchtiges organisches Lösungsmittel, Zellophanfolie oder andere Vinylchloridverbindungen auf das Papier gelangen.
- Beim Einlegen des Papiers den zu bedruckenden Bereich nicht mit den Fingern anfassen. Verschmutzungen auf dem Papier können die Ausgabequalität beeinträchtigen.
- Ziehen Sie vor dem Druckvorgang das Papier um 15~20 cm (6~8 Zoll) heraus, nachdem Sie den Klebestreifen von der vordersten Kante entfernt haben. Rückstände des Etikettenklebers auf dem Papier können die Ausgabequalität beeinträchtigen.
- Um ein Ausbleichen oder eine Farbänderung des gedruckten Bildes zu vermeiden, sollten die Ausdrucke an einem kühlen, trockenen Ort aufbewahrt werden, an dem die Temperatur nicht höher als 30°C (86°F) ist.
- Lagern Sie gedruckte Bilder in einem Polypropylenbeutel oder zwischen Blättern, die keinen Kunststoff enthalten.
- Lagern Sie gedruckte Bilder nicht an einem Ort, an dem sie direktem Sonnenlicht oder hoher Luftfeuchtigkeit ausgesetzt sind.
- Lagern Sie gedruckte Bilder nicht in der Nähe von flüchtigen Flüssigkeiten und achten Sie darauf, dass kein flüchtiges organisches Lösungsmittel, Zellophanfolie oder andere Vinylchloridverbindungen auf das gedruckte Bild gelangen.
- Legen Sie gedruckte Bilder auf oder unter ein Lichtpauspapier, um das Ausbleichen des Drucks zu vermeiden.
- Wenn Sie bedrucktes Papier auf einem anderen Papier befestigen wollen, verwenden Sie doppelseitiges Klebeband oder einen Klebstoff auf Wasserbasis.
- Verbrennen Sie Restpapier nicht.

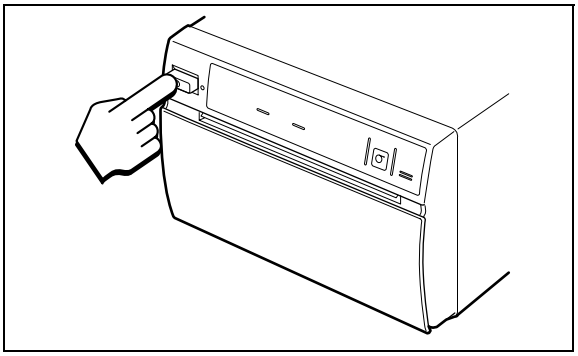
Einlegen von Papier in den Drucker

Hinweise

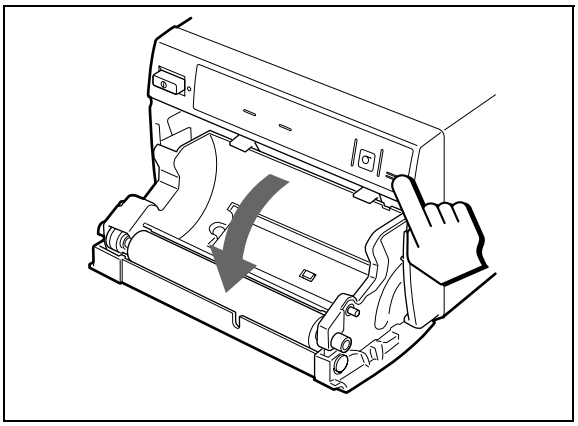
- Schlagen Sie vor dem Einlegen von Papier im Kapitel “Aufbewahren und Benutzen von Papier” (auf Seite 8) nach.
- Seien Sie beim Einlegen von Papier stets vorsichtig, um die Qualität des Ausdrucks nicht zu mindern. Vermeiden Sie, dass das Papier gebogen oder zerknittert wird. Die Oberfläche sollte nicht mit den Fingern berührt werden. Verschmutzungen können die Ausgabequalität beeinträchtigen.
- Verwenden Sie ausschließlich Papier der Serie UPP-110S/110HD/110HG. (Seite 8)
- Achten Sie darauf, dass der Schalter PAPER TYPE richtig für das geladene Papier eingestellt ist. (Seite 4)

Einlegen von Papier

1 Drücken Sie den Netzschalter ON/OFF, um den Drucker einzuschalten. Die Betriebsanzeige leuchtet.



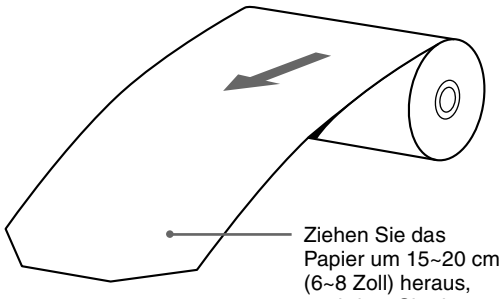
2 Öffnen Sie mit der Taste OPEN den Papierfachdeckel.



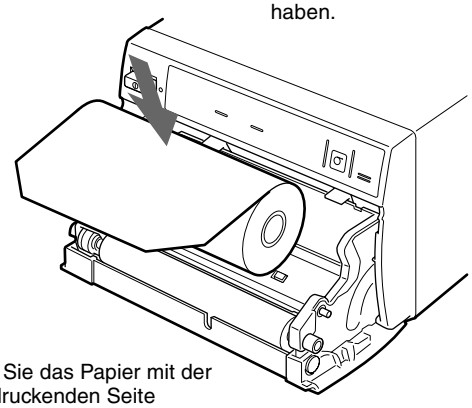
3 Entfernen Sie das Etikett von der Vorderkante des Papiers und ziehen Sie das Papier ca. um 15~20 cm (6~8 Zoll) heraus. Legen Sie dann die Papierrolle in das Papierfach ein.

Hinweis

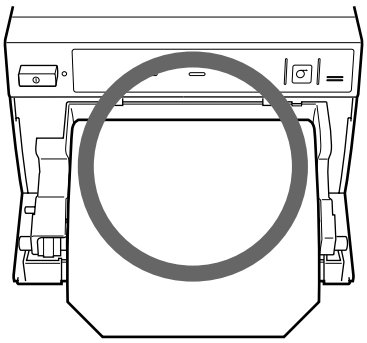
Gehen Sie stets vorsichtig mit dem Papier um, wenn Sie es aus der Packung entnehmen und in den Drucker einlegen, damit das Papier nicht in Kontakt mit Staub, Schmutz etc. kommt. Verschmutztes Papier kann es für das Drucken nicht mehr verwendet werden.



Ziehen Sie das Papier um 15~20 cm (6~8 Zoll) heraus, nachdem Sie den Klebestreifen entfernt haben.

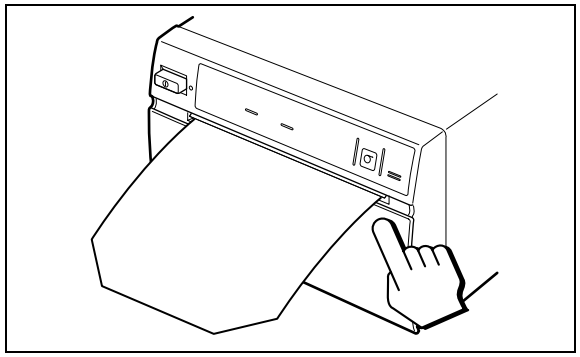


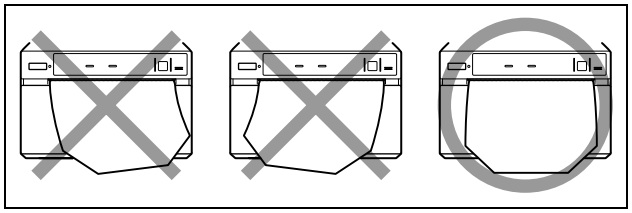
Legen Sie das Papier mit der zu bedruckenden Seite (Thermoseite) nach oben ein. Das Drucken ist nicht möglich, wenn das Papier falsch eingelegt wird.



Stellen Sie sicher, dass das Papier gerade eingelegt ist.

4 Drücken Sie den Papierfachdeckel in die Verriegelung, um das Fach zu schließen.





Hinweise

- Stellen Sie sicher, dass das Papier gerade eingelegt ist. Es könnte ein Papierstau auftreten, wenn das Papier schräg eingelegt ist.
- Haben Sie bei Schritt 3 nicht genügend Papier herausgezogen, drücken Sie, **ohne am Papier zu ziehen,** auf die Taste FEED auf dem Bedienfeld.

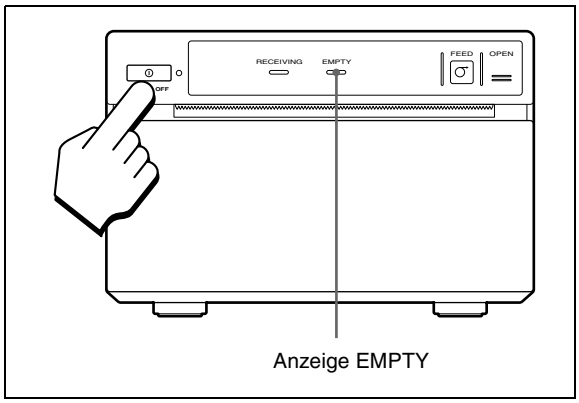
Druckvorgang

Vor dem Starten eines Druckvorgangs

Überprüfen Sie stets die folgenden Punkte:
- Ist der Drucker richtig angeschlossen? (Seite 5)
- DIP-Schalter korrekt eingestellt? (Seite 6)
- Druckertreiber installiert? (Seite 6)
- Papier richtig eingelegt? (Seite 9)

Starten des Druckvorgangs

1 Schalten Sie den Drucker mit dem Netzschalter ON/OFF ein. Die Netzanzeige leuchtet.



2 Überprüfen Sie, ob die Anzeige EMPTY leuchtet. Ist dies der Fall, legen Sie Papier ein.

3 Wählen Sie in der Anwendung den Befehl zum Starten des Druckvorgangs.

Abbrechen eines Druckvorgangs

Drücken Sie die Taste OPEN oder FEED, um einen Druckvorgang, der bereits ausgeführt wird, abzubrechen.

Einziehen von Papier

Halten Sie die Taste FEED gedrückt, um Papier einzuziehen. Es wird Papier eingezogen, so lange Sie die Taste FEED gedrückt halten. **Versuchen Sie nicht, das Papier mit den Händen herauszuziehen.**

Sicherheitsmaßnahmen

Sicherheit

- Überprüfen Sie vor dem Drucken die Betriebsspannung.
  Betreiben Sie das Gerät nur an einer unter "Technische Daten" angegebenen Stromquelle.
- Stoppen Sie den Druckvorgang sofort, wenn Flüssigkeiten oder Fremdkörper in das Gehäuse gelangen. Ziehen Sie den Netzstecker aus der Steckdose, und lassen Sie das Gerät von qualifiziertem Fachpersonal überprüfen.
- Wollen Sie das Gerät längere Zeit nicht benutzen, ziehen Sie den Netzstecker aus der Steckdose. Ziehen Sie dazu immer am Stecker. Ziehen Sie nicht am Kabel.
- Öffnen Sie das Gehäuse nicht. Überlassen Sie Wartungsarbeiten stets nur qualifiziertem Fachpersonal.
- Berühren Sie nicht die Schneideklinge des Druckers.
- Schließen Sie den Netzstecker des Druckers an eine Netzsteckdose mit Schutzerdung an. Die Schutzerdung muss ordnungsgemäß funktionieren.

Betrieb

Schalten Sie das Gerät nicht aus, während ein Druckvorgang läuft. Andernfalls kann der Thermodruckkopf beschädigt werden.

Transport

Tragen oder bewegen Sie den Drucker nicht, wenn eine Papierrolle eingelegt ist. Dies könnte zu einer Fehlfunktion führen.

Aufstellung

- Stellen Sie den Drucker auf eine ebene und stabile Oberfläche.
  Wenn Sie den Drucker auf eine unebene Oberfläche stellen, kann es zu Fehlfunktionen des Druckers kommen.
- Stellen Sie den Drucker nicht in der Nähe von Wärmequellen auf. Stellen Sie das Gerät nicht in der Nähe von Heizkörpern oder Warmluftauslässen oder an Orten auf, an denen es direktem Sonnenlicht, außergewöhnlich viel Staub, Feuchtigkeit oder Erschütterungen ausgesetzt ist.
- Achten Sie auf ausreichende Luftzufuhr, damit sich im Gerät kein Wärmestau bildet. Stellen Sie das Gerät nicht auf Oberflächen wie Teppichen oder Decken oder in der Nähe von Textilien wie Gardinen und Wandbehängen auf.
- Wenn der Drucker plötzlichen, starken Temperaturschwankungen ausgesetzt wird, wenn er beispielsweise von einem kalten in einen warmen Raum gebracht oder in einem Raum mit einem Heizkörper aufgestellt wird, der viel Feuchtigkeit erzeugt, kann sich im Drucker Kondenswasser niederschlagen. In einem solchen Fall arbeitet der Drucker in der Regel nicht korrekt. Wenn Sie ihn dennoch längere Zeit benutzen, kann es sogar zu Beschädigungen kommen. Hat sich im Drucker Feuchtigkeit niedergeschlagen, schalten Sie ihn aus, und lassen Sie ihn mindestens eine Stunde lang unbenutzt stehen.

Wartung

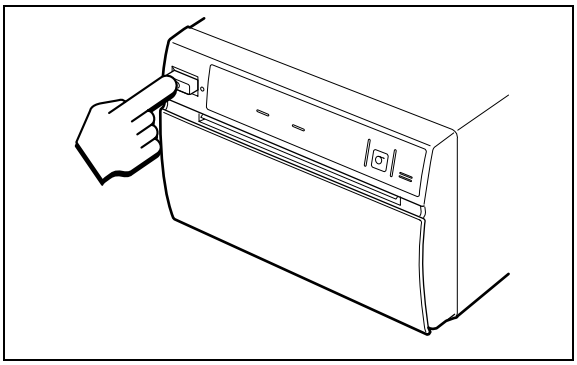
Reinigen des Gehäuses

Verwenden Sie zum Reinigen der Gehäuseoberfläche ein ausgewrungenes feuchtes Tuch mit Wasser und einem milden Reinigungsmittel.
Verwenden Sie zur Reinigung des Gehäuses niemals Verdünner, ein organisches Lösungsmittel oder jegliche andere Art von Scheuermitteln.

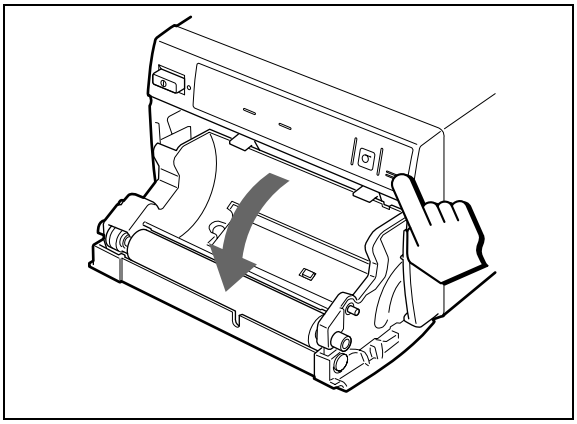
Reinigen des Thermodruckkopfes

Wenn der Ausdruck verschmutzt ist oder weiße Streifen aufweist, reinigen Sie den Thermodruckkopf mit dem mitgelieferten Reinigungsblatt.

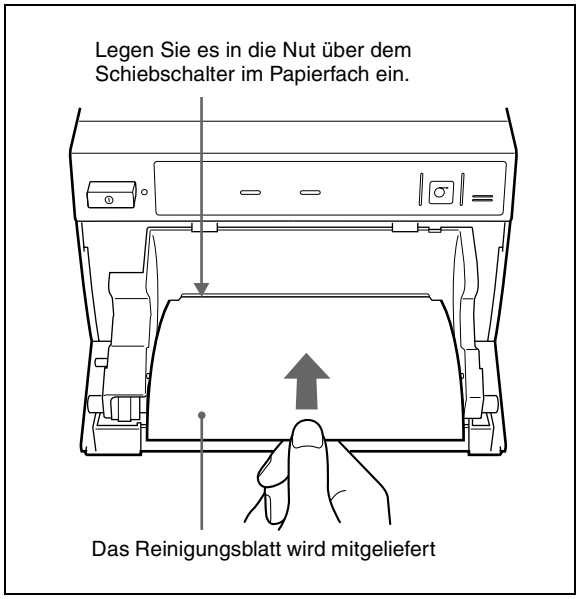
1 Schalten Sie den Drucker mit dem Netzschalter ON/OFF ein.



2 Öffnen Sie den Papierfachdeckel mit der Taste OPEN.

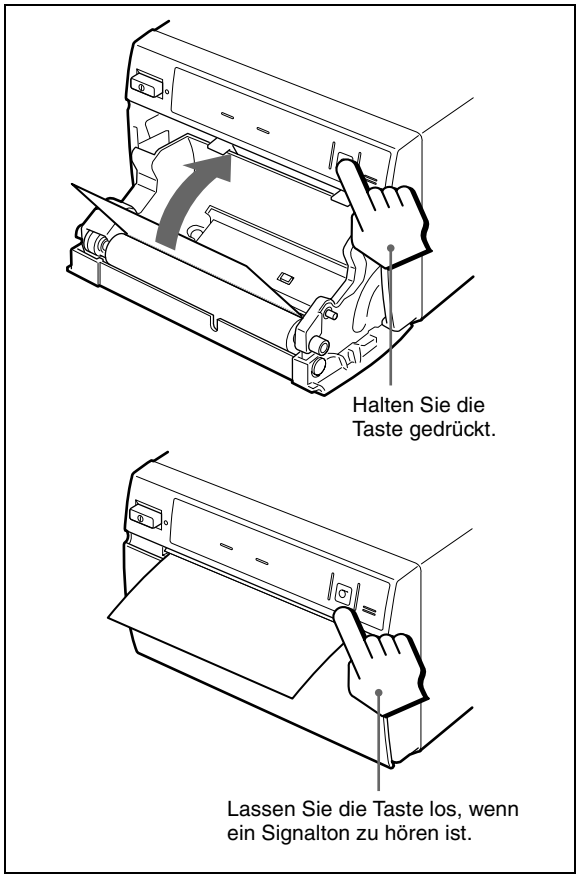


3 Legen Sie das Reinigungsblatt mit der schwarzen Oberfläche nach unten ein, und zwar in die Nut im Papierfach.



4 Drücken Sie den Papierfachdeckel in die Verriegelung, um das Fach zu schließen.

5 Halten Sie die Taste FEED gedrückt, bis das Reinigungspapier ausgegeben wird. Wenn ein Signalton zu hören ist, lassen Sie die Taste FEED los.



6 Drücken Sie zum Öffnen des Papierfachdeckels die Taste OPEN und nehmen Sie das Reinigungsblatt heraus.

7 Schließen Sie den Papierfachdeckel.

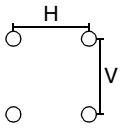
Hinweis

Reinigen Sie den Thermodruckkopf mit dem Reinigungspapier nur, wenn dies nötig ist. Unnötiges Reinigen kann den Thermodruckkopf beschädigen.

Technische Daten

Drucker

Thermodruckkopf
Dünnfilmthermokopf, 1280 Punkte
Graustufen 256 (8 Bit)
Speicherkapazität
4096 × 1280 × 8 Bit
Bildgröße 320 × 100 mm (Max.)
Druckgeschwindigkeit
ca. 5,1 Sek./Bildschirm (1280 × 1280 Punkte)
Bildelemente 4096 × 1280 Punkte (Max.)
Punktdichte H: 100 mm/1280 Punkte = 0,078
V: 100 mm/1280 Punkte = 0,078
Quadratpunkte



Betriebsspannung
100 bis 120V Wechselstrom, 50/60 Hz, 1,5 A
220 bis 240V Wechselstrom, 50/60 Hz, 0,8 A
Temperatur bei Betrieb
5°C bis 35°C (41°F bis 176°F)
bei Lagerung/Transport
–20°C bis 60°C (–4°F bis 140°F)
Luftfeuchtigkeit bei Betrieb
20 % bis 80 %
bei Lagerung/Transport
20 % bis 90 %
Abmessungen 154 × 105 × 260 mm (B × H × T)
6,1 × 4,1 × 10,2 in. (B × H × T)
Gewicht 3,4 kg (1,54 Lbs.), nur Drucker
Mitgeliefertes Zubehör
Papierrolle UPP-110HG × 1 Rolle
Netzkabel × 1
Druckkopfreinigungsblatt × 1
Druckertreiberdiskette × 1
Bedienungsanleitung × 1
Wartungskontaktadressen × 1
Softwarelizenzvereinbarung × 1
Druckmaterialetikett × 1

Schnittstelle

Parallele Schnittstelle

Steueranschluss
IEEE1284-B Anschluss (D-Sub 36-polig)
Eingang: 5V (TTL) (Max.)
Ausgang: 5V (TTL) (Max.)
Datenübertragungssystem
8 Bit, parallel, IEEE STD 1284-1994 Standard
Modi: Compatible, Reverse nibble und ECP
Logischer Pegel TTL

Parallele Schnittstelle - Stiftbelegung

Stift	E/A	Signal		
		Schnittstellenmodus		
		Compatible	Nibble	ECP
1	E	nStrobe	HostClk	HostClk
2	E/A	Data1 (LSB)		
3	E/A	Data2		
4	E/A	Data3		
5	E/A	Data4		
6	E/A	Data5		
7	E/A	Data6		
8	E/A	Data7		
9	E/A	Data8 (MSB)		
10	A	nACK	PtrClk	PeriphClk
11	A	Busy	PtrBusy	PeriphAck
12	A	Perror	AckDataReq	nAckReverse
13	A	Select	Xflag	Xflag
14	E	nAutoFd	HostBusy	HostAck
15		Nicht belegt		
16-17		GND		
18	A	Peripheral Logic High (bis zu +5V bei 1kΩ)		
19-30		GND		
31	E	nInit	nInit	nReverseRequest
32	A	nFault	nDataAvail	nPeriphRequest
33		Nicht belegt		
34		Nicht belegt		
35		Nicht belegt		
36	E	nSelectIn	IEEE 1284 Active	IEEE 1284 Active

UP-D895 ist kompatibel mit den Modi Compatible, Reverse Nibble und ECP für die bidirektionale parallele Schnittstelle (IEEE STD 1284-1994).

USB-Schnittstelle

Datenübertragung
Universal Serial Bus Specification Rev. 1.0 Standard

USB-Schnittstelle - Stiftbelegung

Stift	E/A	Signal	Funktion
		VCC	Kabelstromstärke, Max. Stromstärke 100 mA
	E/A	–Data	Data
	E/A	+Data	Daten, über einen Widerstand von 1,5 kΩ W mit +3,3 verbinden
		Erdung	Erdungskabel

Änderungen, die dem technischen Fortschritt dienen, bleiben vorbehalten.

Medizinische Daten

Schutz vor elektrischem Schlag:
Klasse I
Schutz vor dem Eindringen von Wasser:
Normal
Grad der Gerätesicherheit bei Vorhandensein von brennbarem Gemisch oder Sauerstoff:
Nicht geeignet zum Einsatz bei Vorhandensein von brennbaren anästhetischen Gemisch oder Sauerstoff
Betriebsmodus: Kontinuierlich

Störungsbehebung

Überprüfen Sie zunächst die unten beschriebenen Probleme und Lösungen, bevor Sie sich mit dem Kundendienst in Verbindung setzen. Können Sie das Problem nicht selbstständig beheben, so wenden Sie sich an einen autorisierten SONY-Vertragshändler.

Problem	Lösung
Weiße Flecken auf den ersten Ausdrucken.	Wurde gerade eine neue Papierrolle eingelegt? →Wenn Sie mit einer neu eingelegten Papierrolle drucken, können Verunreinigungen auf der Papieroberfläche weiße Flecken auf dem Ausdruck verursachen. Halten Sie die Taste FEED gedrückt, bis ca. 15~20 cm (6~8 Zoll) Papier ausgegeben wurden und lassen Sie die Taste wieder los.
Druckvorgang startet nicht.	• Papier wird nicht eingezogen. →Ist das Gerät eingeschaltet? →Ist der Drucker richtig angeschlossen? →Ist kein Papier mehr vorhanden? • Signaltöne →Ist der Thermodruckkopf überhitzt? Bei einem Druckauftrag mit hoher Druckdichte, wenn also viele schwarze Flächen gedruckt werden, kann der Thermodruckkopf überhitzen. Bei einer Überhitzung leuchtet die Betriebsanzeige EMPTY. Brechen Sie den Druckvorgang ab und lassen Sie den Drucker abkühlen. →Ist das Papier richtig eingelegt? • Das Papier wird eingezogen, aber der Druckvorgang beginnt nicht. →Ist das Papier mit der falschen Seite eingelegt? (Seite 9)
Die Datenübertragung ist nicht schneller, auch wenn für den parallelen Anschluss der ECP-Modus gewählt wurde.	• Unterstützt der Computer den ECP-Modus? →Selbst wenn der ECP-Modus im Druckertreiber angezeigt wird, kann es sein, dass einige Computer diesen Modus nicht untestützen. Wenden Sie sich für weitere Informationen an Ihren Verkäufer oder Hersteller.
Papierstau	• Ist das gestaute Papier sichtbar? →Öffnen Sie mit der Taste OPEN den Papierfachdeckel und ziehen Sie das gestaute Papier langsam heraus. • Hat sich Feuchtigkeit im Drucker gebildet? →Wird der Drucker von einem kalten in einen warmen Raum gebracht, kann sich im Drucker Kondensation bilden. Schalten Sie den Drucker aus und warten Sie 1~2 Stunden (bis er sich auf Zimmertemperatur erwärmt hat) und beginnen Sie dann den Druck erneut.
Ausdruck ist verschmutzt.	Ist der Thermokopf verschmutzt? →Verwenden Sie zur Reinigung des Thermodruckkopfs das mitgelieferte Reinigungstuch. (Seite 12)
Der Drucker stoppt den Druckvorgang beim mehrmaligen Drucken von Bildern mit schwarzen Flächen.	Beim Ausdrucken von 15 oder mehr Bildern mit schwarzen Flächen kann die Schutzschaltung des Thermodruckkopfs eine Überhitzung verhindern. →Unterbrechen Sie den Druckvorgang und lassen Sie den Thermodruckkopf abkühlen.

お問い合わせは
「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

はんだ付けに無鉛はんだ使用

http://www.world.sony.com/